

高等学校等における英語教育の 改善について（参考資料）

<目次>

1. 高等の外国語〔英語〕科目に関する学習指導要領改訂
の経緯等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 英語教育に関する現状と課題について・・・・・・・・ 4
 - 科目履修の状況
 - 高校生の英語力等
3. 諸外国における状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4. 外国語(英語)の考えられる改訂の方向性・・・・・・・・ 44
5. 指導方法の変革を支援する取組について・・・・・・・・ 46

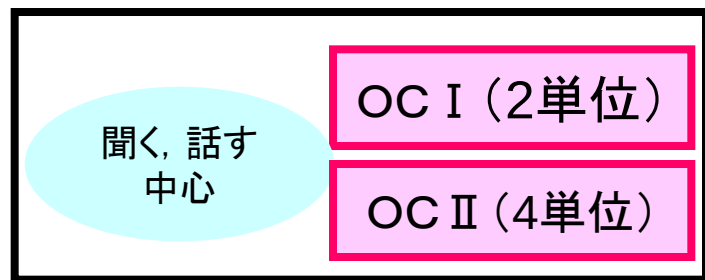
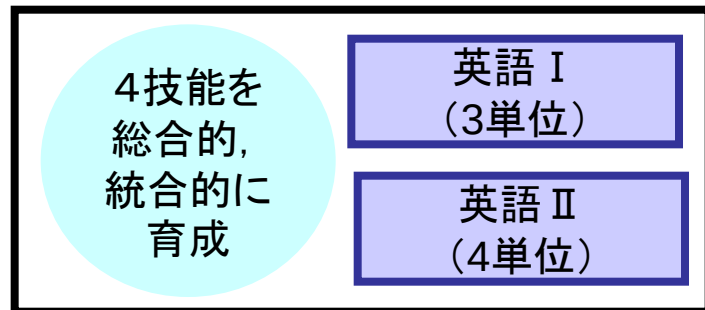
英語科目に関する学習指導要領改訂の経緯等について

高等学校学習指導要領「外国語」の変遷

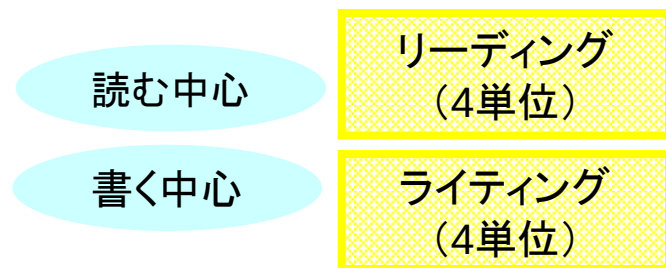
	昭和52～53年改訂 (昭和57年4月 入学生より実施)	平成元年改訂 (平成6年4月 入学生より実施)	平成10年改訂 (平成15年4月 入学生より実施)	平成20年改訂 (平成25年4月 入学生より実施)
目標	「外国語を理解し、外国語で表現する能力を養うとともに、言語に対する関心を深め、外国の人々の生活やものの見方などについて理解を得させる」	「外国語を理解し、外国語で表現する能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深める」	「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う」	「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」
科目の構成	英語Ⅰ 4 英語Ⅱ 5 英語ⅡA 3 英語ⅡB 3 英語ⅡC 3 ドイツ語 フランス語	英語Ⅰ 4 英語Ⅱ 4 オーラルコミュニケーションA 2 オーラルコミュニケーションB 2 オーラルコミュニケーションC 2 リーディング 4 ライティング 4 ドイツ語 フランス語	オーラルコミュニケーションⅠ 2 オーラルコミュニケーションⅡ 4 英語Ⅰ 3 英語Ⅱ 4 リーディング 4 ライティング 4 その他の外国語	コミュニケーション英語基礎 2 コミュニケーション英語Ⅰ 3 コミュニケーション英語Ⅱ 4 コミュニケーション英語Ⅲ 4 英語表現Ⅰ 2 英語表現Ⅱ 4 英語会話 2
言語活動	「聞くこと、話すこと」「読むこと」及び「書くこと」の3領域で構成。	「聞くこと・話すこと」をそれぞれ独立させて、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」及び「書くこと」の4領域で構成。	4領域の示し方を改め、相互の有機的な関連を図ったコミュニケーション活動として示す。さらにそれに必要な指導事項も明示。また、言語の使用場面や言語の働きを例示。	4つの領域の言語活動の統合を図るとともに、発信力の向上や、中学校との円滑な接続を図る観点から、科目の構成及び内容等を改善。
言語材料の取扱い	各科目ごとに言語材料を割り当てる。	科目ごとの言語材料の割り当てをはずし、まとめて示す。	学習負担の軽減のため精選。	
語	英語Ⅰ 400語～500語までの新語 英語Ⅱ 上に加えて600語～700語までの新語 英語ⅡB 400語～700語までの新語→1400語～1900語(中学900語～1050語)	英語Ⅰ 500語程度までの新語 英語Ⅱ 英語Ⅰの語に加えて500語程度までの新語 リーディング 英語Ⅰの語に加えて900語までの新語 →最大1900語(中学1000語程度)	英語Ⅰ 400語程度の新語(1単位減のため) 英語Ⅱ 英語Ⅰの語に加えて500語程度までの新語 リーディング 英語Ⅰの語に加えて900語までの新語 →最大1800語(中学 900語程度)	コミュニケーション英語Ⅰ 400語 コミュニケーション英語Ⅱ 700語 コミュニケーション英語Ⅲ 700語 コミュニケーション英語基礎 英語表現Ⅰ・Ⅱ 計19単位取ると1800語(中学1200語程度)

現行学習指導要領の高等学校における英語科目の見直し等

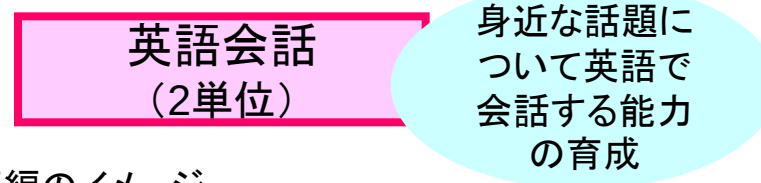
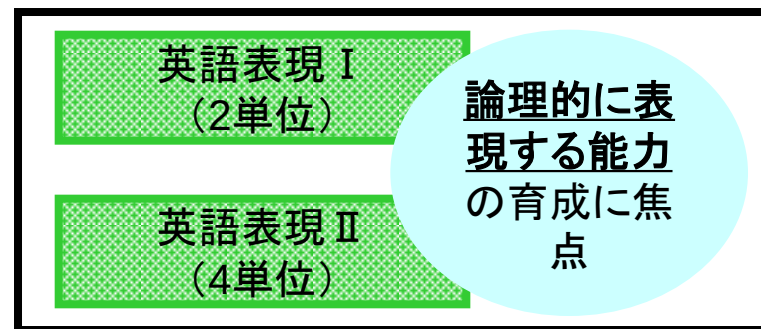
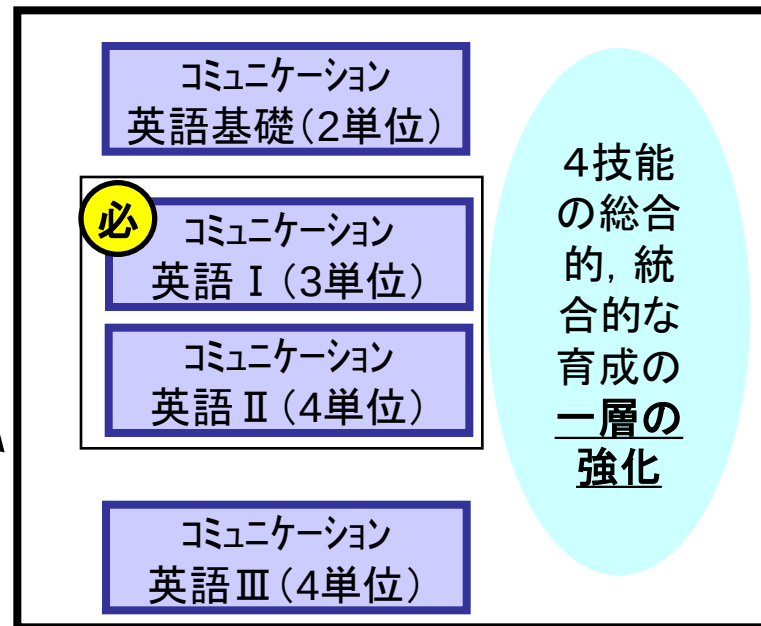
(旧)



(※) OC:「オーラルコミュニケーション」の略



(新)



(※) 矢印は教科内容再編のイメージ

○授業は生徒の理解の程度に応じた英語で行うことが基本

○英語を英語のまま理解・表現することに慣れるような指導の充実

○スピーキングテストも導入する等、4技能を測定する評価方法の開発

英語科目の開設状況等

		普通科				専門学科				総合 学科
		1年次	2年次	3年次	単位制	1年次	2年次	3年次	単位制	
外国語	コミュニケーション 英語基礎	5.0%	0.0%	0.0%	0.6%	13.2%	0.2%	0.2%	0.3%	6.1%
	コミュニケーション 英語Ⅰ	90.2%	4.5%	1.6%	6.8%	81.9%	26.7%	9.3%	1.7%	100%
	コミュニケーション 英語Ⅱ	0.8%	89.5%	23.1%	6.8%	0.1%	65.7%	52.4%	1.5%	94.9%
	コミュニケーション 英語Ⅲ	0.0%	0.6%	77.2%	6.3%	0.0%	0.2%	15.1%	0.7%	70.0%
	英語表現Ⅰ	64.3%	18.1%	13.8%	6.8%	10.6%	18.5%	29.5%	1.1%	90.2%
	英語表現Ⅱ	0.5%	56.6%	65.1%	5.8%	0.3%	7.1%	11.6%	0.8%	55.2%
	英語会話	5.5%	6.3%	19.7%	2.6%	3.4%	10.5%	20.1%	0.6%	57.9%

出典「平成25年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査」

○センター試験受験(本試験)状況

区分	英語(筆記)	英語(リスニング)
受験者数	523,354人	516,428人
科目選択率	98.7%	97.4%

出典「平成27年度大学入試センター試験 実施結果の概要」(独立行政法人大学入試センター)

平成17年度高等学校教育課程実施状況調査

- 「英語の勉強が好きだ」、「英語の勉強は大切だ」、「英語の授業が分かる」に対する生徒の肯定的な回答は、平成14年度調査とほぼ同様の傾向がみられた。
- 「自分の言いたいことを英語で書くこと」について「身に付きやすかった」と回答した生徒の割合は14.4%であった。
- 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりするコミュニケーション活動及び整理して書くコミュニケーション活動を行っていることについて、肯定的な回答をした教師の割合はそれぞれ16.7%、18.8%であった。

生徒への質問事項	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合
「英語の勉強が好きだ」	40.1% <40.1%>	55.3% <55.1%>
「英語の勉強は大切だ」	82.9% <83.1%>	14.1% <13.7%>
「英語の授業がどの程度分かりますか」	38.3% <37.6%>	29.5% <30.8%>

生徒・教師への質問事項		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
教師	「生徒にとって身に付けやすい」	23.7%	3.5%	54.8%	5.8%
生徒	「身に付きやすかった」	24.1%	12.7%	34.6%	14.4%
教師	「生徒は興味を持ちやすい」	68.1%	47.9%	32.6%	28.0%
生徒	「好きだった」	30.6%	21.7%	28.4%	19.9%

出典「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査」質問紙調査結果 ※<>内は平成14年度調査結果

課 題

① 生徒の英語力・英語学習に対する意識と教員の指導・研修状況

[生徒]

- 英語力… 高3生はC E F R A 1の上位～A 2の下位レベルが多い。特に、「話す」「聞く」の課題が大きい（平成26年度高校3年生の英語力調査）。
… 「第2期教育振興基本計画」に掲げる高等学校卒業段階での英語力（英検準2級～2級程度）を達成している公立高校3年生は約3割にとどまっている（目標は50%）。
- 英語の学習が好きではないと回答する生徒が多く、学習意欲に課題が見られる。
- 4技能を効果的に活用した技能統合型の言語活動が十分ではない。
（特に、聞いたり読んだりしたことに基づいて英語で話し合ったり意見交換をしたりする経験や、ディベートやディスカッションの経験が少ない）

[教員]

- 聞いたり読んだりしたことに基づく話合いや意見交換・書く活動（技能統合型の言語活動）を行っている教員が少ない。
- スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションを行っている教員が少ない。
- 教員養成・研修において、上記のような状況を改善する支援策が十分でない。

② 科目履修の状況

普通科等と英語教育を主とする学科の違い

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る。

2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、新たな英語教育が本格展開できるように、本計画に基づき体制整備等を含め2014年度から逐次改革を推進する。

1. グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方

○小学校中学年：活動型・週1～2コマ程度

- ・コミュニケーション能力の素地を養う
- ・学級担任を中心に指導

○小学校高学年：教科型・週3コマ程度

(「モジュール授業」も活用)

- ・初歩的な英語の運用能力を養う
- ・英語指導力を備えた学級担任に加えて専科教員の積極的活用

※小・中・高を通じて一貫した学習到達目標を設定することにより、英語によるコミュニケーション能力を確実に養う

※日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実(伝統文化・歴史の重視等)

○中学校

- ・身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養う
- ・授業を英語で行うことを基本とする

○高等学校

- ・幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者となる程度流暢にやりとりができる能力を養う
- ・授業を英語で行うとともに、言語活動を高度化(発表、討論、交渉等)

2. 新たな英語教育の在り方実現のための体制整備(平成26年度から強力に推進)

○小学校における指導体制強化

- ・小学校英語教育推進リーダーの加配措置・養成研修
- ・専科教員の指導力向上
- ・小学校学級担任の英語指導力向上
- ・研修用映像教材等の開発・提供
- ・教員養成課程・採用の改善充実

○中・高等学校における指導体制強化

- ・中・高等学校英語教育推進リーダーの養成
- ・中・高等学校英語科教員の指導力向上
- ・外部検定試験を活用し、県等ごとの教員の英語力の達成状況を定期的に検証
- ※全ての英語科教員について、英検準1級、TOEFL iBT 80点程度等以上の英語力を確保

○外部人材の活用促進

- ・外国語指導助手(ALT)の配置拡大、地域人材等の活用促進(ガイドラインの策定等)
- ・ALT等向けの研修強化・充実

○指導用教材の開発

- ・先行実施のための教材整備
- ・モジュール指導用ICT教材の開発・整備

小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実し、生徒の英語力を向上(高校卒業段階で英検2級～準1級、TOEFL iBT57点程度以上等)

→外部検定試験を活用して生徒の英語力を検証するとともに、大学入試においても4技能を測定可能な英検、TOEFL等の資格・検定試験等の活用の普及・拡大

3. スケジュール(イメージ)

- 2014年1月頃 有識者会議設置
- 2014～2018年度 指導体制の整備、英語教育強化地域拠点事業・教育課程特例校による先取り実施の拡大
- 中央教育審議会での検討を経て学習指導要領を改訂し、2018年度から段階的に先行実施
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて2020年度から全面实施

(参考) 高等学校における英語教育の改善の方向①

(「英語教育の在り方に関する有識者会議審議(平成26年9月26日)」報告: 抜粋)

現状・課題

(共通する課題)

- 生徒の英語力については、第2期教育振興基本計画で掲げられている目標の下での達成状況は、これまでのアンケート調査によると中学校3年生で約3割、高等学校3年生で約3割となっている。今後、生徒の英語力のよりの確に把握・分析し、学校における指導改善や生徒の学習意欲向上につなげることが重要である。
- 中・高等学校については、英語教育の目標としてコミュニケーション能力を身に付けることを設定しながら、「何ができるようになったか」よりも、「どれだけ語彙や文法等の知識を身に付けさせたか」を中心とした授業が行われているとの指摘。この場合、学習を通じて「知識として何を知ったか」が重視されがちとなり、コミュニケーション能力の育成を意識した取組も不十分であるとの指摘もある。
- 小・中連携、中・高連携が十分でなく、各学校種間の学びが円滑に接続していないという状況も見られる。
- ※ 教員の英語の使用状況、教員自身の英語力向上、学校におけるCAN-DO形式での学習到達目標の設定は全体的に改善は見られるが一層の改善が必要。また、地域によって、ばらつきが大きいことから今後の指導における影響が大きいと考える。
- ※ 中・高等学校でそれぞれどのような指導と評価が行われているかについてお互いに情報不足で、中・高等学校の連携が不十分であるとの指摘もある。



今後の方向性

- 各学校が適切に学習到達目標を設定し、これらの資質・能力についての達成状況を明確化できるようにするため、国として、小・中・高等学校において達成を目指すべき教育目標を、より具体的な形で4技能ごとに一貫した指標として示す方向で検討する。
- 小・中・高等学校の連携、中・高等学校の連携などを意識した目標・内容を具体的に検討するとともに、中・高等学校の目標の高度化等の改善を踏まえ、それぞれの段階において言語の使用場面や働きを更に広げた言語活動を行うこととする。各中・高等学校において策定されている学習到達目標は、学習指導要領に基づき、「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から目標を具体化し、それらに基づく指導及び評価を行うことにより、英語によるコミュニケーション能力を確実に養うことを目的としている。これらは各学校において生徒の学習状況や地域の実態等を踏まえた上で設定することを通じ、生徒が身に付ける能力を明確化し、教育活動を行う際に、具体的な指導及び評価の改善に活用するものである。
- 小・中・高等学校を通じて体系的な教育活動を行うとともに、各学校における学習到達目標を設定した指導等の改善を更に進める観点から、今後、国において、これまでの取組を検証しつつ、小・中・高等学校において達成を目指すべき教育目標を、4技能ごとに一貫した指標の形で設定することについて検討を進める。

(参考)高等学校における英語教育の改善の方向 ②

(「英語教育の在り方に関する有識者会議審議(平成26年9月26日)」報告:抜粋)

④ 高等学校における改善の方向

- 高等学校段階における英語教育の多様性に対応した目標・内容の設定、及びそれらの高度化を図るとともに、中学校との円滑な接続を図る観点から、次のような改善を図る。

- ・ 幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者とある程度流暢にやりとりができる能力を養う。
- ・ 引き続き、授業を英語で行うことを基本とするとともに、言語活動の高度化(発達段階や、生徒の英語力等の状況に応じた発表、討論、交渉等)を図る。
- ・ 例えば、社会的な話題や時事問題等の幅広い話題について情報や考えなどを的確に理解するとともに適切に伝え、英語を用いて課題解決していく力を育成するコミュニケーション能力を養う。

例)ある程度の長さの新聞記事を速読して必要な情報を取り出したり、社会的な問題や時事問題について課題研究したことを発表したりすることができる。

- ・ 中学校で学習した語彙・表現・文法事項等に意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して繰り返し触れることができるよう、様々な言語活動を工夫し、言語の運用能力を高める。
- ・ 専門学科等におけるより専門性の高い内容を扱う科目設定等の在り方について検討が必要である。

(略)

- 高等学校でも、現行の学習指導要領に引き続き、授業を英語で行うことを基本とする。その際、その狙いが「生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため」であり、また同時に「生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮する」ことを前提としていることを理解することが重要である。

◆ 第2期教育振興基本計画（平成25年6月14日閣議決定） （抜粋）

成果目標5（社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材等の養成）

「社会を生き抜く力」に加えて、卓越した能力※を備え、社会全体の変化や新たな価値を主導・創造するような人材、社会の各分野を牽引するリーダー、グローバル社会にあって様々な人々と協働できる人材、とりわけ国際交渉など国際舞台で先導的に活躍できる人材を養成する。

これに向けて、実践的な英語力をはじめとする語学力の向上、海外留学者数の飛躍的な増加、世界水準の教育研究拠点の倍増などを目指す。

※能力の例：国際交渉できる豊かな語学力・コミュニケーション能力や主体性、チャレンジ精神、異文化理解、日本人としてのアイデンティティ、創造性など

【成果指標】

＜グローバル人材関係＞

①国際共通語としての英語力の向上

・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標（中学校卒業段階：英検3級程度以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度以上）を達成した中高校生の割合50%

②英語教員に求められる英語力の目標（英検準1級、TOEFL iBT80点、TOEIC730点程度以上）を達成した英語教員の割合（中学校：50%、高等学校：75%）

◆ 今後の英語教育の改善・充実方策について 報告

（H26年9月26日 英語教育の在り方に関する有識者会議） （抜粋）

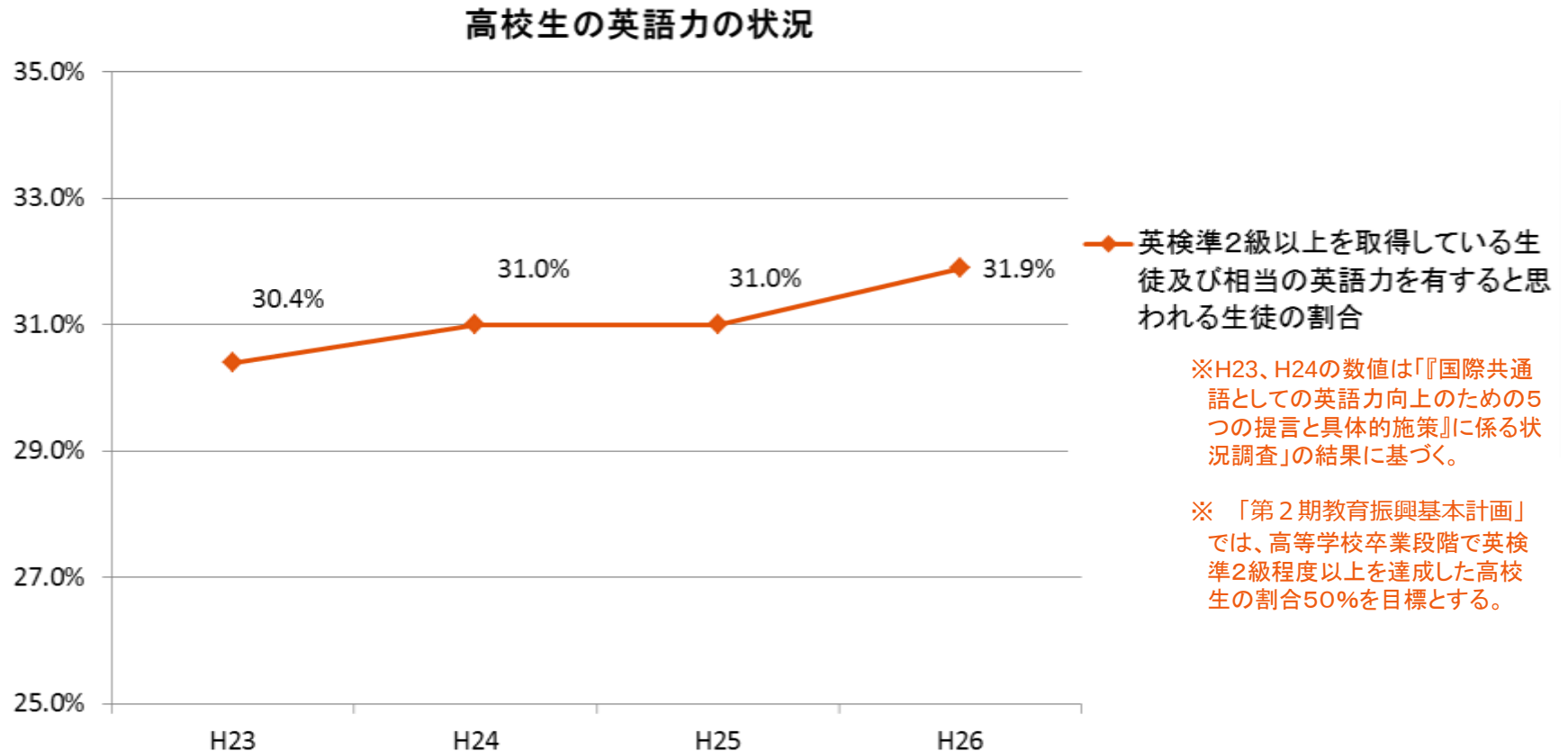
生徒の英語力の目標については、「第2期教育振興基本計画」（平成25年6月14日閣議決定）において、中学校卒業段階で英検3級程度以上、高等学校卒業段階で英検準2級程度～2級程度以上を達成した中高生の割合を50%とすることとされている。この実現に向けて取り組むとともに、高等学校卒業時に、生涯にわたり「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を積極的に使えるようになる英語力を身に付けることを目指す。

あわせて、**生徒の英語力の目標を設定し、調査による把握・分析を行い、きめ細かな指導改善・充実、生徒の学習意欲の向上につなげる。**これまでに設定されている英語力の目標だけでなく、**高校生の特性・進路等に応じて、高等学校卒業段階で、例えば英検2級から準1級、TOEFL iBT60点前後以上等を設定し、生徒の多様な英語力の把握・分析・改善を行うことが必要。**

高等学校の英語教育の現状（平成26年度英語教育実施状況調査より）

高校生の英語力の推移

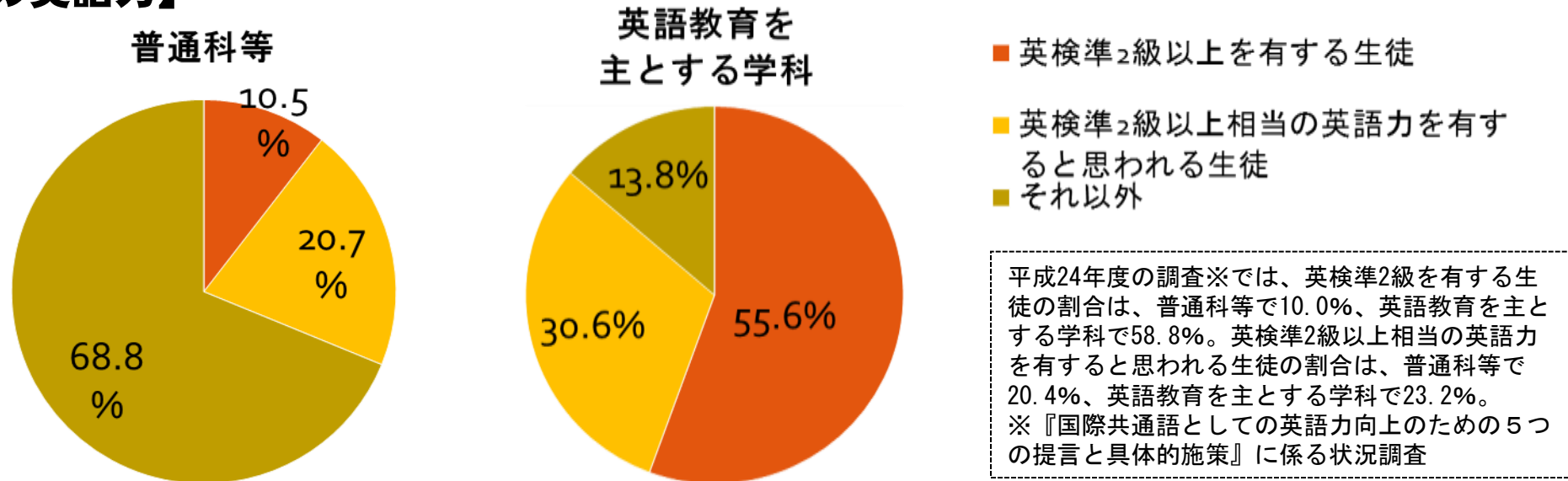
- 高等学校第3学年に所属している生徒のうち、英検準2級以上を取得している生徒は11.1%で、平成25年度の11.0%から0.1ポイント上昇している。
- 英検準2級以上を取得してはいないが、相当の英語力を有すると思われる生徒は20.8%で、平成25年度の20.0%から0.8ポイント上昇している。
- 両者を合わせると31.9%となり、平成25年度の31.0%から0.9ポイント上昇している。



高等学校の英語教育の現状（平成26年度英語教育実施状況調査より）

普通科と英語教育を主とする学科の違い

【生徒の英語力】



【授業における取組】

「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業の状況	普通科等	英語教育を主とする学科
授業中、半分以上の時間、生徒の英語による言語活動を行っている英語担当教員の割合	42.6%	67.1%
授業中、半分以上の時間、英語による発話を行っている英語担当教員の割合	48.1%	68.3%

（参考）平成26年度高校3年生の英語力について（アンケート調査より）

英検準2～2級程度（CEFR：A2～B1レベル）の生徒が約3割

英検準2級～2級程度以上（CEFR：A2～B1レベル）の公立高校3年の生徒数について教育委員会を通じてアンケートを実施

23年度	24年度	25年度	26年度
30%	31%	31%	32%

【高等学校及び中等教育学校（後期課程）】

	高等学校第3学年に所属している生徒数…(a)	(a)の内、英検を受験したことがある生徒数…(b)	(b)の内、英検準2級以上を取得している生徒数…(c)	(a)の内、英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数[(c)以外]…(d)	(c)と(d)の計
普通科等	707,511 人 (699,313人)	230,300 人 (228,184人)	74,141 人 (72,922人)	146,465 人 (139,155人)	220,606 人 (212,077人)
	((a)に占める割合)→	32.6% (32.6%)	10.5% (10.4%)	20.7% (19.9%)	31.2% (30.3%)
英語教育を主とする学科	9,300 人 (7,699人)	6,967 人 (6,493人)	5,172 人 (5,021人)	2,845 人 (2,099人)	8,017 人 (7,120人)
	((a)に占める割合)→	74.9% (84.3%)	55.6% (65.2%)	30.6% (27.3%)	86.2% (92.5%)
合計	716,811 人 (707,012人)	237,267 人 (234,677人)	79,313 人 (77,943人)	149,310 人 (141,254人)	228,623 人 (219,197人)
	((a)に占める割合)→	33.1% (33.2%)	11.1% (11.0%)	20.8% (20.0%)	31.9% (31.0%)

注)「英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数」とは、英検準2級以上は取得していないが、相当の英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒の人数を指す。

平成26年度 英語力調査（高校3年生）結果の概要

1 調査の目的

- 高校3年生を対象に、英語の4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）がバランスよく育成されているかという観点から、生徒の英語力を測定し、調査結果を学校での指導や生徒の学習状況の改善・充実に活用。

（参考）

第2期教育振興基本計画（平成25～29年度）に、グローバル人材の育成に向けた取組として、民間の資格・検定試験団体と連携した生徒の英語力の把握・検証による戦略的な英語教育改善の取組支援を提言。また、成果指標として、高校3年生の英語力の目標を設定。

* 第2期教育振興基本計画（平成25年～29年度）における成果指標

①国際共通語としての英語力の向上

・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標（中学校卒業段階：英検3級程度以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度以上）を達成した中高校生の割合50%

2 調査の内容・対象

- 全国の高校3年生約7万人（国公立約480校）の英語力を調査
 - ・学習指導要領に基づき、全員を対象に3技能（聞くこと、読むこと、書くこと）試験を実施。
 - ・「話すこと」は約1.7万人を調査（1校あたり1クラスを対象）。
- 生徒の英語学習状況や英語担当教員の指導状況を把握・分析（質問紙調査）
 - ・受験した生徒：英語学習に関する関心・意欲や授業内外における学習状況
 - ・調査実施対象校の英語担当教員：授業における指導状況 等
- 学校の取組事例
 - ・調査結果において特徴が見られた学校における取組内容の調査
- 試験実施時期：平成26年7月～9月

3 調査の特徴

- 国による全国無作為抽出で行う大規模な4技能型試験の初めてのフィージビリティ調査。
- 平成26年度は旧学習指導要領（平成20年改訂前）で学んだ高3生を対象とした調査。
（平成27年度は現行学習指導要領で学んだ生徒の調査を実施し、経年比較を行う予定。）
- 高校生の英語力を幅広く測定するため、世界標準となっているCEFR（Common European Framework of Reference for Languages：ヨーロッパ言語共通参照枠）のA1からB2までのレベルを測定できるように設計。（別紙参照）

【総論】

4 技能全てにおいて課題があるとともに、特に「書くこと」「話すこと」について課題が大きい。

生徒の英語力について
特に「書く」「話す」が課題

1. 英語学習に対する生徒の意識

＜テスト結果と質問紙の分析＞

○生徒の英語学習に対する意識①

- ・英語が好きではないとの回答が半数を上回る。特にA1レベルにおいて顕著。
- ・テストスコアが高いほど、英語学習は好きと回答する生徒の割合が高い。

○現在の英語力と将来の英語使用のイメージ②

- ・現在の英語力のレベルによって将来の英語使用のイメージが異なる。「英語をどの程度身に付けたいと思っていますか」という問いに対し、テストスコアが高いほど、「英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい」「大学で自分が専攻する学問を学べるようになるたい」といった将来の英語使用のイメージが明確な生徒の割合が高い。

学習意欲に課題

＜1. の改善の方向性＞

- ⇒ 生徒が「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、主体的に学ぶ意欲・態度の育成を含めた具体的な指標形式の目標の設定し、生徒が達成感を得られるようにする。併せて、主体的な学びにつながる学習・指導方法（アクティブ・ラーニング）、及び評価方法の在り方を検討・改善。

2. 4 技能を活用した言語活動に対する生徒の意識

＜テスト結果と質問紙の分析＞

○4 技能を通じた言語活動に対する生徒の意識「読むこと」「聞くこと」①

- ・英語を読んだり聞いたりして、概要や要点をとらえる活動をしていた生徒は半数を上回る。
(合計：リーディング67.2%、リスニング58.2%)
- ・「読むこと」「話すこと」のテストスコアが高いほど、授業において「概要や要点をとらえる活動をしていたと思う」生徒の割合が高い。

○4 技能を通じた言語活動に対する生徒の意識「話すこと」②

- ・聞いたり読んだりしたことについて、英語で話し合ったり意見交換をした経験が少ない（合計：35.2%）。
- ・「話すこと」のテストスコアが高いほど、授業において「生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思う」生徒の割合が高い。

○4 技能を通じた言語活動に関する生徒の取組状況「話すこと」③

- ・英語でスピーチやプレゼンテーションをした経験が少ない（合計：22.9%）。
- ・「話すこと」のテストスコアが高いほど、授業において「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思う」生徒の割合が高い。

特に「話す」「書く」
言語活動が十分でない

○言語活動に対する生徒の意識：「聞いたり読んだりしたことについて書くこと」（2つ以上の技能統合型）

- ・聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりした経験が少ない（合計：38.7%）。
- ・「書くこと」のテストスコアが高いほど、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた生徒の割合が高い。

〈上記2. の改善の方向性〉

- ⇒ 基礎的な知識・技術を活用し、生徒の興味・関心が高い話題や、時事問題や社会的な話題など幅広い話題について「発表・討論・交渉」などの言語活動を豊富に体験させ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする総合的なコミュニケーション能力を高める必要がある。
- ⇒ あわせて「聞いて書く」など複数技能を統合して使う活動を通して、生徒が実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協同的に探求し、考えや気持ちを互いに伝え合うことを目的とした学習・指導方法（アクティブ・ラーニング）や評価を行うことが必要。

3. 4 技能を活用した言語活動に対する教員の意識

〈質問紙の分析〉

○授業における言語活動の指導①

＜技能統合型：聞いたり読んだりしたことに基づく話合いや意見交換・書く活動＞

- ・聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話合いや意見交換を行っている教員（合計：33.0%）、書く活動を行っている教員（合計：39.7%）が少ない。

○授業における言語活動の指導②

＜技能統合型：スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション＞

- ・スピーチやプレゼンテーションを行っている教員が少ない（合計：28.0%）
- ・ディベートやディスカッションを行っている教員が非常に少ない（合計：6.9%）

技能統合型の言語活動・指導が十分でない

〈3. の改善の方向性〉

- ⇒ 教員養成・研修において、1. 2の改善の方向性に沿った実践的な内容の改善が必要。
- ・ペア・ワーク、グループ活動などを含めた学習・指導方法、時事問題や社会的な話題などについて「発表・討論・交渉」などを行う模擬授業、「話す」「書く」の能力を測るパフォーマンステスト等を強化

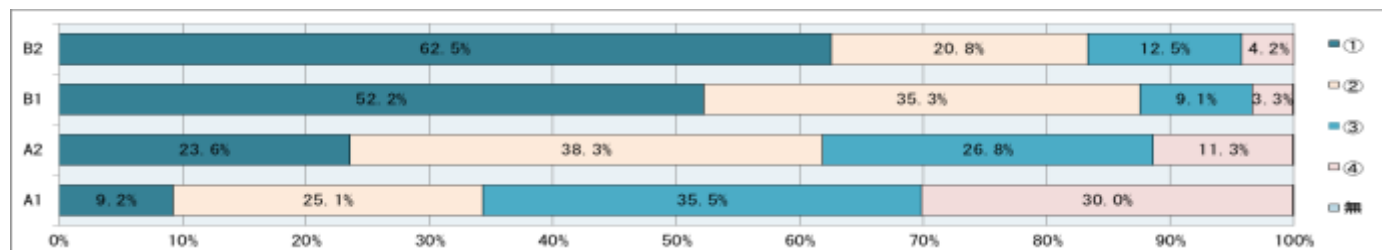
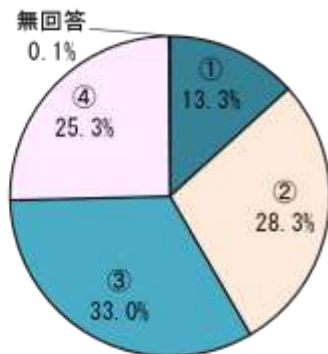
1. 英語学習に対する生徒の意識

生徒の英語学習に対する意識①

○英語が好きではない（選択肢③④）との回答が半数を上回る。特にA1レベルにおいて顕著（公立）。

問 英語の学習は好きですか。最も当てはまる選択肢を1つ選んでください。

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない



※「読むこと」の試験結果とのクロス。

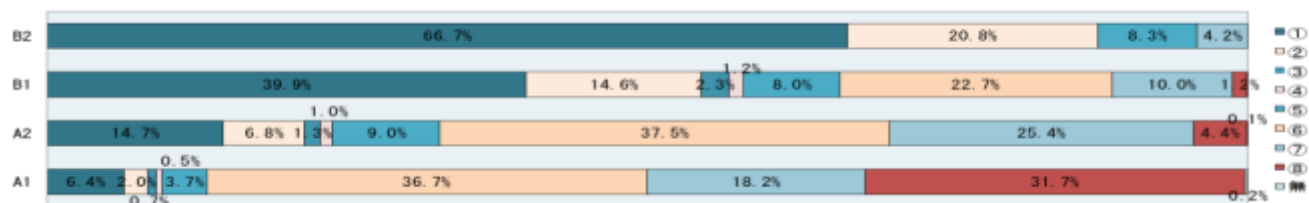
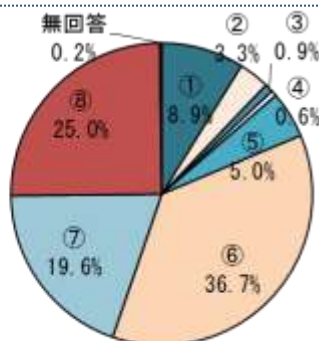
現在の英語力と将来の英語使用のイメージ②

○現在の英語力のレベルによって将来の英語使用のイメージが異なる（公立）。

「英語をどの程度身に付けたいと思っていますか」という問いに対し、B2、B1など試験結果が高いほど、「英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい」（選択肢①）「大学で自分が専攻する学問を学べるようになりたい」（選択肢②）といった回答が多い。

問 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

①英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい ②大学で自分が専攻する学問を英語で学べるようになりたい ③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい ⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい ⑥海外旅行などをするときに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい ⑦大学入試に対応できる力をつけたい ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない



※「読むこと」の試験結果とのクロス。

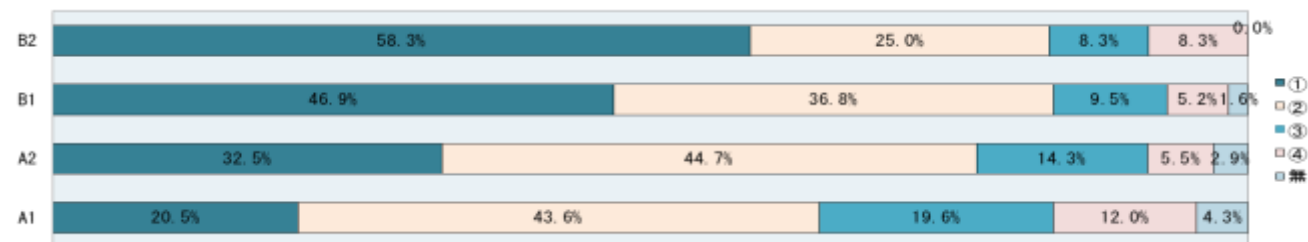
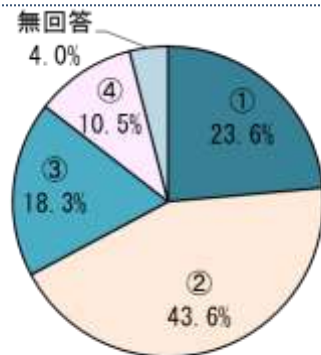
2. 4技能の言語活動に対する生徒の意識

4技能を通じた言語活動に対する生徒の意識「読むこと」「聞くこと」①

- 英語を読んだり聞いたりして、概要や要点をとらえる活動をしていた生徒は半数を上回る（選択肢①②合計：リーディング67.2%、リスニング58.2%（リスニングの図は略））
- 「読むこと」「話すこと」のテストスコアが高いほど、授業において「概要や要点をとらえる活動をしていたと思う」（選択肢①②）生徒の割合が高い（公立）。

問 第2学年での英語の授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。

- ①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない



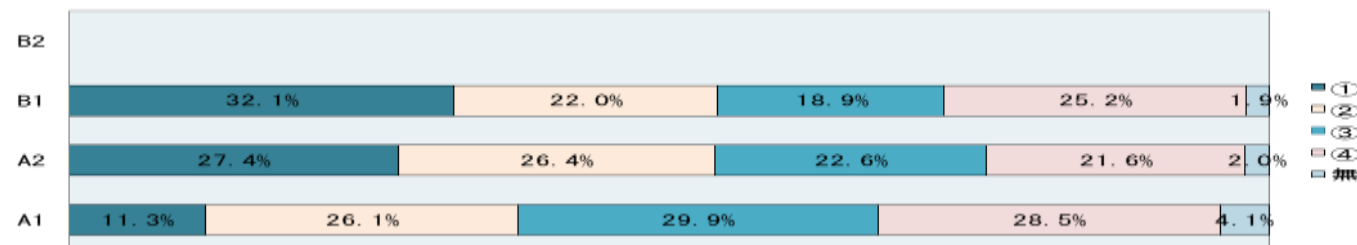
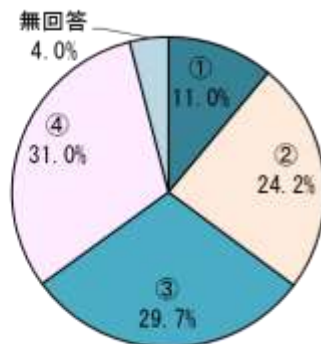
※「読むこと」のテスト結果とのクロス

4技能を通じた言語活動に対する生徒の意識「話すこと」②

- 聞いたり読んだりしたことについて、英語で話し合ったり意見交換をした経験が少ない（選択肢①②合計：35.2%）。
- 「話すこと」のテストスコアが高いほど、授業において「生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思う」（選択肢①②）生徒の割合が高い（公立）。

問 第2学年での英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

- ①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない



※「話すこと」のテスト結果とのクロス 18

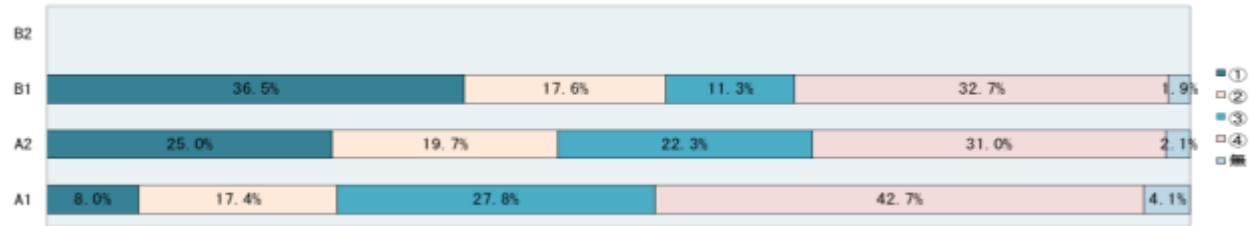
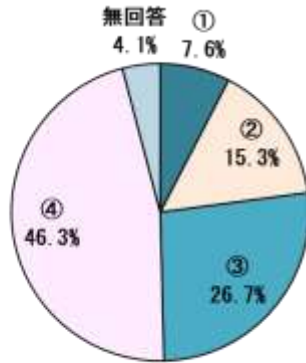
4 技能の言語活動に対する生徒の意識

4 技能を通じた言語活動に対する生徒の意識「話すこと」③

- 英語でスピーチやプレゼンテーションをした経験が少ない（選択肢①②合計：22.9%）。
- 「話すこと」の試験結果が高いほど、授業において「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思う」生徒（選択肢①②）の割合が高い（公立）。

問 第2学年での英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない



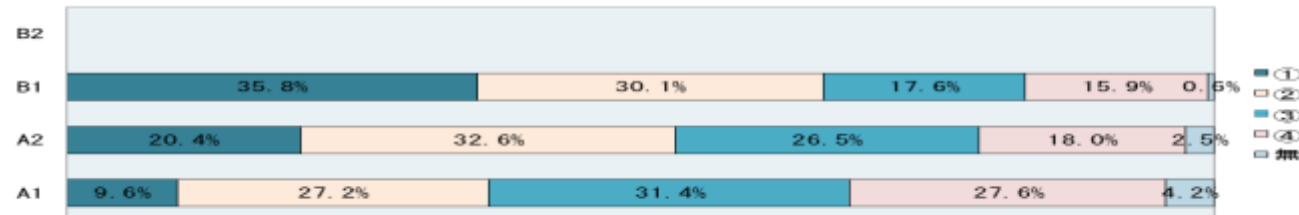
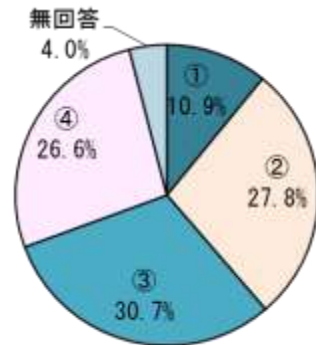
※「話すこと」のテスト結果とのクロス。

4 技能を通じた言語活動に対する生徒の意識④〈技能統合型：聞いたり読んだりして書くこと〉

- 聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりした経験が少ない（選択肢①②合計：38.7%）。
- 「書くこと」の試験結果が高い生徒ほど、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた割合（選択肢①及び②）が高い（公立）。

問 第2学年での英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない



※「書くこと」のテスト結果とのクロス。

3. 授業における言語活動の指導に対する教員の意識

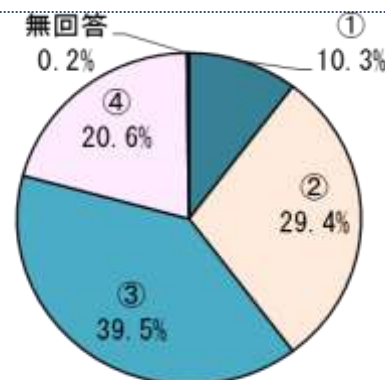
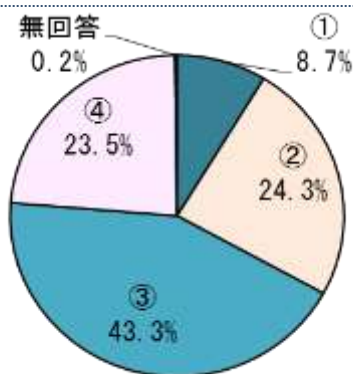
授業における言語活動の指導① <技能統合型：聞いたり読んだりしたことに基づく話し合いや意見交換・書く活動>

- 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合いや意見交換を行っている教員（選択肢①②の合計：33.0%）、書く活動を行っている教員（選択肢①②合計：39.7%）が少ない（公立）。

問 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。

問 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない



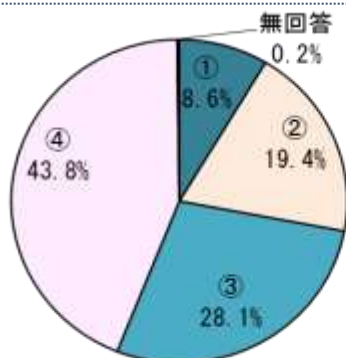
授業における言語活動の指導② <技能統合型：スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション>

- スピーチやプレゼンテーションを行っている教員が少ない(選択肢①②合計：28.0%)。
- ディベートやディスカッションを行っている教員が非常に少ない(選択肢①②合計：6.9%)。(公立)

問 スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。

問 ディベートやディスカッションを行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない



学校の取組紹介①

思考力・表現力・表現力を伸ばす指導でコミュニケーション・ツールとしての英語力を鍛える

1 学校プロフィール(※学級数及び生徒数は平成27年2月調査日時点、学科名はⅠ～Ⅲで表示)

学級数・生徒数	Ⅰ学科／第3学年…2学級(83人)、Ⅱ学科・Ⅲ学科／第3学年…4学級(168人)
ALT活用状況	常勤のALTが1人。3年次はライティングの授業で、授業の4回に1回の割合で入る
備考	・スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクールの指定

2 テスト結果、質問紙における学校の特徴 ⇒ 4技能全体が全国平均を上回る。

	Reading	Listening	Writing	Speaking
当該高等学校の平均点	201.6	203.4	81.1	10.9
全国平均点(公立学校)	126.7 / 320	117.1 / 320	24.9 / 144	4.2 / 14

3 生徒質問紙結果 ⇒ 生徒の英語学習の目的意識が高い。

- ◆「英語の学習は好きか」という質問に **7割以上(全国は約4割)**が「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」と回答。
- ◆ 将来の英語使用のイメージは、「国際社会で活躍できるようになりたい」、「大学で自分が専攻する学問を英語で学べるようになる」との回答が **49.6%(全国は12.2%)**
- ◆「聞いたり読んだりしたこと」について、「生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしている」と答えた生徒が **75.5%(全国は35.2%)**と高い。

4 特色ある授業内の取組

①教科書の英文に触れる機会を増やし、使える英語の習得につなげる

教科書の英文を何度も聞いたり読んだりする機会を与えることでコミュニケーション能力の向上につなげるとともに、様々なペア・ワークに
取り組むなど工夫を凝らし、生徒の知的好奇心を喚起。

②思考力や表現力を伸ばす課題の設定

答えが一つではない問いを考えることで、より深い読みを促すとともに、生徒同士とのペア・ワークなどを通して、多様なものの見方があることを体感させる。

課題文を読んでエッセイを書くなど自分の考え・意見をアウトプットする機会が多い。

③自信を持ってコミュニケーションを図れる雰囲気づくり

自分の英語力に自信が持てず、抵抗を感じる生徒も少なくないため、生徒の知的好奇心を喚起するとともに、話しやすい教室の雰囲気づくりを意識。

特色ある授業外の取組

○生徒たちが自ら行き先を決める海外研修

1年次に海外研修を実施。生徒は研修内容(学校や企業訪問、インタビューなど)を計画し、現地の情報を調べて共有。



(英語の授業でディベートを実施している様子)



(英語プレゼンテーションコンテストの様子)



(海外研修の様子)

学校の取組紹介②：独自教材と共通の評価方法を用いて4技能を総合的に伸ばす

1 学校プロフィール(※学級数及び生徒数は平成27年2月調査日時点)

学級数・生徒数	12学級(438人)／第3学年…4学級(149人)
ALT活用状況	常勤のALTが1人。1・2年次は各クラス週1回、3年次は各クラス2週間に1回。
備考	・独自教材を作成し、生徒の英語力に合った興味・関心を喚起する教材の利用と課題の設定を工夫・数年前まで生徒指導上の困難を抱えていた学校

2 テスト結果、質問紙における学校の特徴 ⇒ テストスコアは平均をやや下回るも4技能にわたる言語活動が多く、バランスよく育成

	Reading	Listening	Writing	Speaking
当該高等学校の平均点	113.2	108.2	16.1	3.0
全国平均点(公立学校)	126.7 / 320	117.1 / 320	24.9 / 144	4.2 / 14

3 生徒質問紙結果 ⇒ 高3でもスピーチやプレゼンテーションなどの言語活動の実施率が高い。

- ◆「聞いたり読んだりしたこと」について、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしている」と答えた生徒が**76.2%(全国は35.2%)**と高い。
- ◆ 英語でのスピーチやプレゼンテーションの実施率は、第3学年で**70%強と全国平均(22.9%)**を大きく上回っている。
- ◆ 生徒は言語活動主体の授業に好印象を抱いており、「英語での会話が楽しいので時間をもっと増やして欲しい」といった声が寄せられる。英語を話すことに対する抵抗感もなくなりつつあり、教員にも気軽に英語で話しかけてくる生徒が多くなった。

4 特色ある授業内の取組

①英語を使う素地をつくる「スモール・カンバセーション」

毎時間、冒頭10分間で、生徒同士でペアとなり、初歩的な英語によるQ&A形式の会話を繰り返し行う。教科書の内容に関わる質問を盛り込み、学習事項の理解や定着を促す。

②英語での授業を徹底し、グループ単位の「スモール・プレゼンテーション」を多く取り入れる

扱うテーマに対する興味を喚起してから音声を聞き、いくつかの設問によって概要把握ができているかを確認。その上で、教科書本文の内容を図式化して構造的に理解し、総括となる課題(「ゴール・アクティビティ」)を与え、長めの英作文やグループでの発表(スモール・プレゼンテーション)などに取り組ませる。

③共通の評価項目で、スピーキング、リスニング、ライティングを評価

スピーキングテストではペアで行う会話のテストや、教員と対面式のインタビューテストを実施。ライティングテストは、定期考査のなかでパラグラフ・ライティングを実施。同一の評価項目・評価方法を用いることで、教員間で評価の差が出ないようにしている。

特色ある授業外の取組

○スピーチコンテストへの出場

県主催のスピーチコンテストに参加し、H25年度には県大会への出場。敗退したが、次年度へのモチベーションに繋がった。



(スモール・カンバセーションの様子)

学校の取組紹介③：CAN-DO リストに基づいた4技能統合型の授業を推進

1 学校プロフィール(※学級数及び生徒数は平成27年2月調査日時点)

学級数・生徒数	15 学級(548 人)／第3学年…5学級(196 人)
ALT活用状況	ALTは1人で、週4日勤務。授業は第1・2学年の全クラスでそれぞれ週1回担当
備考	・生徒の学習意欲向上を重視した学習到達目標(CAN-DOリスト)の設定・評価の工夫

2 テスト結果、質問紙における学校の特徴 ⇒ 4技能の言語活動の割合が高く、ライティング、スピーキング力は全国平均の2倍以上。

	Reading	Listening	Writing	Speaking
当該高等学校の平均点	137.2	134.6	54.8	8.8
全国平均点(公立学校)	126.7 / 320	117.1 / 320	24.9 / 144	4.2 / 14

3 生徒質問紙結果 ⇒ 「聞く、読む」→「話す、書く」の統合型の言語活動が多い。

◆「聞いたことを読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりする活動」79.3% (全国では35.2%)、「聞いたことを読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動」78.2% (全国平均38.7%)はいずれも高い割合で実施。

4 特色ある授業内の取組

- ①学習到達目標－CAN-DOリストに基づいた授業設計で、教員間及び教員・生徒同士で目標を共有
- CAN-DOリストにより、教員間で指導・評価の方向を共有するとともに、生徒は自分が何ができるようになったのかや課題は何であるのかを可視化、教員間で指導・評価の方向を共有。
- ②毎時間ペア・ワークを行い、実際の場面で使えるスピーキング力を育成
- 授業ではほぼ毎時間、ウォームアップとして、既習の文法事項を活用したペア・ワークを行っている。文法事項を単に暗記させるのではなく、実際のコミュニケーションの中で当該文法事項を使うことを大切にしている。
- ③書いた文章を生徒相互で読み合うことによる読み手を意識したライティング活動
- ライティングでは、授業の2回に1回は、「登場人物にEメールを書く」などまとまりのある文章を書く。
完成した文章はペアやグループで相互に読み合うことで、読み手が理解しやすいように文章を書くことを心がけている。また、スピーキングテストと同時にエッセイテストなどにおいてライティングの評価を行い、地域の英作文コンテストに向けた校内予選を兼ねている。

特色ある授業外の取組

英字新聞の発行、スピーチコンテスト等への積極的な出場

英字新聞発行のため生徒が記者として記事を書いたり、生徒の寄稿を受け付け2、3か月に1回発行し、生徒全員に配付。また、英作文コンテストやスピーチコンテスト、自治体や企業が主催する短期海外研修プログラムにも、多くの生徒が参加を希望。



(「すごろくゲーム」形式でリテリング(再話))



(1対1の「お見合い回転ずし」の体形でスピーチ)

「4技能」調査の設計

(計 約2時間)

	Reading 読むこと 〈43問：約45分〉	Listening 聞くこと 〈36問：約25分〉	Writing 書くこと 〈2問：約25分〉	Speaking 話すこと 〈6問：約10分〉
測定する力	実際の言語使用場面を前提とした英語コミュニケーション能力 (「知識・技能」だけでなく、それらを活用して思考・判断・表現する総合的な力)			
問題構成	語彙・語法問題 14問 (短文の中で、文脈を理解するとともに、文法的に、また語彙選択上最も適切な表現を正確に判断できる力) ※A2～B1相当	課題解決問題 18問 (日本語で事前に与えられる状況設定及び視覚情報(イラスト)と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力) ※A2相当	情報要約問題 1問 (英文音声で聞いた情報を理解し、指定語数(30語程度)で要約して書く力) ※B1～B2相当	音読問題 1問 (適切な発音、リズム、イントネーション、速度、声の大きさで話す力) ※A1～B2相当
	概要把握問題 6問 (与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力) ※A2～B1相当	要点理解問題 18問 (英文音声の中から、事前に与えられる英語の質問に答えるために必要な情報を選択し、求められている解答を導くために適切な判断をする力) ※A2～B2相当	意見展開問題 1問 (与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力) ※A2～B2相当	質疑応答問題 1問 (試験官からの問いかけに応じて生徒自身の経験や考えを適切に述べる力) ※A1～B2相当
	情報検索問題 8問 (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※A2相当			意見陳述問題 1問 (与えられた話題について、事実と自分の意見とを区別して、論理的に説明する力) ※A1～B2相当
	要点理解問題 15問 (まとまった量の英文について、英文の趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※B2相当			

- 「読むこと」：多肢選択式・3パート構成・43問(約45分)
 - 「聞くこと」：多肢選択式・2パート構成・36問(約25分)
 - 「書くこと」：自由記述式・2パート構成・2問(約25分)
 - 「話すこと」：音読、即興での質疑応答、ある程度準備した上での意見陳述について評価基準を設け、教員が面接を実施(約10分)
- 時間
計約
2単
位

} 約
10
分

25 問題例 ～Writing②～

W

Part B
意見展開問題社会との接点を通して、個人の経験や他の事例をもとに、
自分の意見と理由を述べる

2.

- ・2.の解答時間は20分です。残り時間が2分になると放送で知らせます。
- ・2.では、自分自身の考えや具体的な経験に基づいて、自由に書きなさい。
- ・制限時間内でできるだけたくさん書きなさい。
- ・イラストは、具体例を書くための参考です。イラストの内容を参考にして書いても、あなた自身の経験を書いてもかまいません。

あなたは授業中に、下記のテーマで英語のエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ：

インターネットなどを利用して、多くの人と友だちになることが話題になっています。このような方法で友だちや知り合いを増やすことについて、あなたはどのように思いますか。あなたの意見とその理由を書きなさい。解答時間は20分です。



※受験者の解答内容によっては、
CEFRレベルA1～2と診断される場合もある。

（例）センテンスがつながっているが、パラグラフになるとまとまりがない etc



出題の趣旨

与えられたテーマに対して自分の考えを表現する問題 1 題を自由記述形式で出題。限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定。

【解答例】

I believe that making friends through use of the Internet has many advantages. Let me explain my opinion.

One major benefit of using the Internet is convenience. As it is available at any time and in almost any place, people have unlimited access to others. Some people do not have enough time to meet others face to face, while others have trouble finding friends with similar interests in their area. With technology, people have a convenient way to make new friends.

Another important point is the global aspect of the Internet. In order to solve the problems of society, people around the world need to understand each other. The Internet has made it possible for those of different nationalities and backgrounds to become friends. By exchanging views and opinions, these new friends develop a deeper understanding of important global issues.

In conclusion, I feel that the Internet allows people around the world to communicate in a convenient and meaningful way.

26 問題例 ～Speaking③～

※取扱注意

S

Part C
意見陳述問題

与えられた社会的なトピックに対して、個人の考えや経験に基づいて意見を述べる

Now / Here is a statement:

Students in Japan should travel abroad. Do you agree or disagree with this statement? Give one or more reasons why you think so.

You will have one minute to prepare. Then, you will have two minutes to speak. <60 seconds>

※受験者の解答内容によっては、CEFRレベルA1～2と診断される場合もある。
(例) センテンスがつながっているが、パラグラフになるとまとまりがない etc

【解答例】

<Affirmative>

I agree with the statement. Students (in Japan) should travel abroad because traveling is one way to learn. By visiting new places, it is possible to learn about things such as the food eaten there or the language spoken there. Going abroad is the best way to study.

<Negative>

I disagree with this statement. Students (in Japan) do not need to travel abroad. These days it is easy to get information about foreign countries on the Internet or television. There are a lot of programs and videos made by people who travel all over the world, so it is not important to go there yourself.

出題の趣旨

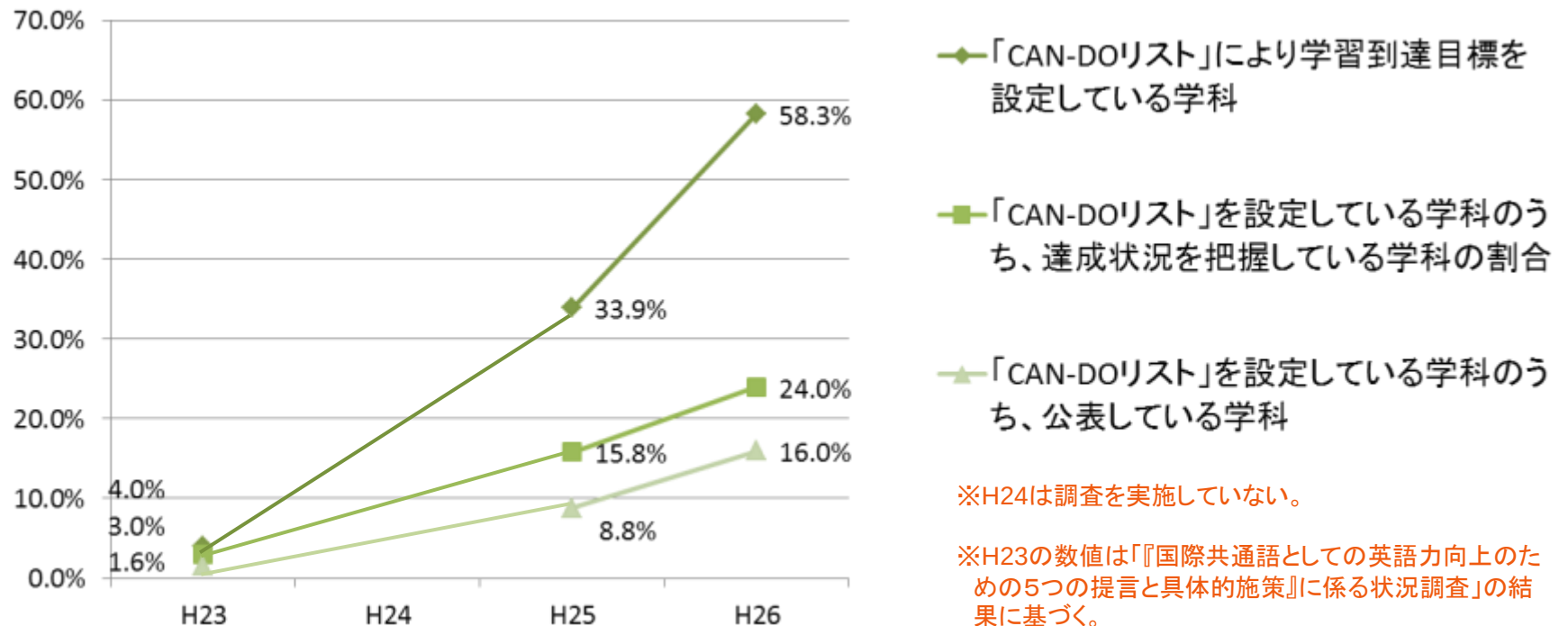
自分の意見と事実を区別して論理的に説明する問題。

高等学校の英語教育の状況（平成26年度英語教育実施状況調査より）

「CAN-DOリスト」の設定状況

- 「CAN-DOリスト」により学習到達目標を設定している学科は58.3%で、平成23年度の4.0%から54.3ポイント上昇、平成25年度の33.9%から24.4ポイント上昇している。
- 「CAN-DOリスト」により学習到達目標を設定している学科のうち、24.0%の学科では設定した学習到達目標の達成状況を把握しており、平成23年度の3.0%から21.0ポイント上昇、平成25年度の15.8%から8.2ポイント上昇している。

「CAN-DOリスト」による学習到達目標の設定・公表・達成状況の把握



諸外国における外国語教育の状況

		中国	韓国	台湾	ベトナム	日本
高校における教育目標		卒業時の目標：言語技能等5項目の到達基準「7級」(明確・持続的な学習意識あり等)学年ごとの目標は定めず。	—	「普通高校必修科目「英語」課程綱要において4技能及びそれらの総合的応用能力の到達目標を定める。	卒業時の目標：CEFR B1 レベル	
初等教育段階における外国語教育の導入時期		2001年 (平成13年)	1997年 (平成9年)	2001年 (平成13年)	2003年 (平成15年)	2011年 (平成23年)
外国語教育の開始学年		小学校 第3学年	小学校 第3学年	小学校 第3学年 ※導入当初は第5学年	小学校 第3学年	小学校 第5学年
各学校段階における外国語教育の授業時数	小学校	週4回以上 ・3・4年は短時間(30分)がメイン ・5・6年は短時間授業と長時間授業(40分)の混合、長時間授業は週2回以上 ※地域差あり	○2008年改定 ・3～4年は週2コマ ・5～6年は週3コマ ※1コマ40分、年間34週 ○改定前(2007年以前)は ・3～4年は週1コマ ・5～6年は週2コマ	週2コマ ※1コマ40分	週2コマ ※1コマ35～45分	週1コマ ※1コマ45分、年間35週
	中学校	週4回以上	1～2年は週3コマ 3年は週4コマ ※1コマ45分、年間34週	週4コマ ※1コマ45分	週3コマ ※1コマ45分	週4コマ ※1コマ50分
	高等学校	週4回以上	1年は週4コマ 2～3年は選択科目単位制 ※1コマ50分、年間34週	週5コマ (必修4, 選択1)	週3コマ ※1コマ45分	必修科目は3単位時間 他は選択科目
到達目標の設定		CAN－DOリストあり 「義務教育英語課程標準(2011年)」、「普通高校英語課程標準(2003年)」に記載	—	Can-D0リストあり。	国独自のリスト「KNLN NVN」を作成(1、2級～上級5、6級)、2014年3月から開始	

中国における各学校段階の英語教育の内容

対応学年	級	要求
外国語学校	九級	
高校3学年	八級	普通高校卒業時に要求されるレベル
高校2学年	七級	
高校1学年	六級	
中学3学年	五級	中学3学年終了時に要求されるレベル
中学2学年	四級	
中学1学年	三級	
小学5、6学年	二級	小学校6学年終了時に要求されるレベル
小学3、4学年	一級	

＜八級の達成目標概要＞

強い自負心と自主学習能力がある。身近な話題について、英語スピーカーと自然に交流できる。会話・文章の内容について、評論的な見解を表明できる。連続した、完全な短い文章を書くことができる。言語を使ったさまざまなジャンルの活動を、自ら企画、立案、実施することができる。これには、計画設定・実施、実験や調査の結果発表を含む。インターネット等のさまざまな教育資源を有効利用し、情報を得て処理できる。自主的に学習効果を評価し、有効な英語学習の戦略を立てることができる。言語コミュニケーションの文化的 content と背景を理解し、異国文化に対して、尊重・包容の姿勢を持つ。

＜技能項目の指標目標（八級）＞

級				
技能	リスニング	スピーキング	リーディング	ライティング
目標内容	1、口調による態度の違いを聞き取ることができる。 2、身近な話題についての討論や会話を聞き取り、要点を理解、記憶することができる。 3、簡単な文章の見解をつかむことができる。 4、ラジオ、テレビの英語ニュースのテーマ、大意をほぼ聞き取ることができる。 5、間接的な表現の提案、アドバイスなどを聞き取ることができる。	1、適切な語調とリズムで話すことができる。 2、タスクに沿って話し合い、計画を立てることができる。 3、実験や調査のプロセスと結果を報告できる。 4、準備をした後、一般的な話題について3分間スピーチができる。 5、日常的なやりとりの中で、意見、決断、抗議、苦情などを効果的に言葉で表現できる。 6、外国人の買い物や観光に同行するなどし、一般的な生活内で通訳ができる。	1、それぞれの資料の異なる見解や観点を読み取り、理解できる。 2、異なる文体の特徴をつかむことができる。 3、文章構造を分析し、難解な文や長文の内容を理解できる。 4、教員の助けを借りつつ、平易な文学作品を読解できる。 5、カリキュラムの規定に沿って、電子ブックやインターネット上の情報をつかみ、整理・処理できる。 6、授業の教材のほかに、36万語以上の読書をする。	1、構造化され、理論立った作文を書き、出来事を説明したり、自身の考えや見解を表現したりできる。 2、テキストをもとに、概要を書くことができる。 3、適切な文体を使い、筋の通った文章展開ができる。 4、文章や図表の情報をもとに、短い報告書やレポートを書くことができる。

CEFR 英語版

Table 2. Common Reference Levels: self-assessment grid

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
U N D E R S T A N D I N G	Listening	I can recognise familiar words and very basic phrases concerning myself, my family and immediate concrete surroundings when people speak slowly and clearly.	I can understand phrases and the highest frequency vocabulary related to areas of most immediate personal relevance (e.g. very basic personal and family information, shopping, local area, employment). I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements.	I can understand the main points of clear standard speech on familiar matters regularly encountered in work, school, leisure, etc. I can understand the main point of many radio or TV programmes on current affairs or topics of personal or professional interest when the delivery is relatively slow and clear.	I can understand extended speech and lectures and follow even complex lines of argument provided the topic is reasonably familiar. I can understand most TV news and current affairs programmes. I can understand the majority of films in standard dialect.	I can understand extended speech even when it is not clearly structured and when relationships are only implied and not signalled explicitly. I can understand television programmes and films without too much effort.	I have no difficulty in understanding any kind of spoken language, whether live or broadcast, even when delivered at fast native speed, provided I have some time to get familiar with the accent.
	Reading	I can understand familiar names, words and very simple sentences, for example on notices and posters or in catalogues.	I can read very short, simple texts. I can find specific, predictable information in simple everyday material such as advertisements, prospectuses, menus and timetables and I can understand short simple personal letters.	I can understand texts that consist mainly of high frequency everyday or job-related language. I can understand the description of events, feelings and wishes in personal letters.	I can read articles and reports concerned with contemporary problems in which the writers adopt particular attitudes or viewpoints. I can understand contemporary literary prose.	I can understand long and complex factual and literary texts, appreciating distinctions of style. I can understand specialised articles and longer technical instructions, even when they do not relate to my field.	I can read with ease virtually all forms of the written language, including abstract, structurally or linguistically complex texts such as manuals, specialised articles and literary works.
S P E A K I N G	Spoken Interaction	I can interact in a simple way provided the other person is prepared to repeat or rephrase things at a slower rate of speech and help me formulate what I'm trying to say. I can ask and answer simple questions in areas of immediate need or on very familiar topics.	I can communicate in simple and routine tasks requiring a simple and direct exchange of information on familiar topics and activities. I can handle very short social exchanges, even though I can't usually understand enough to keep the conversation going myself.	I can deal with most situations likely to arise whilst travelling in an area where the language is spoken. I can enter unprepared into conversation on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events).	I can interact with a degree of fluency and spontaneity that makes regular interaction with native speakers quite possible. I can take an active part in discussion in familiar contexts, accounting for and sustaining my views.	I can express myself fluently and spontaneously without much obvious searching for expressions. I can use language flexibly and effectively for social and professional purposes. I can formulate ideas and opinions with precision and relate my contribution skilfully to those of other speakers.	I can take part effortlessly in any conversation or discussion and have a good familiarity with idiomatic expressions and colloquialisms. I can express myself fluently and convey finer shades of meaning precisely. If I do have a problem I can backtrack and restructure around the difficulty so smoothly that other people are hardly aware of it.
	Spoken Production	I can use simple phrases and sentences to describe where I live and people I know.	I can use a series of phrases and sentences to describe in simple terms my family and other people, living conditions, my educational background and my present or most recent job.	I can connect phrases in a simple way in order to describe experiences and events, my dreams, hopes and ambitions. I can briefly give reasons and explanations for opinions and plans. I can narrate a story or relate the plot of a book or film and describe my reactions.	I can present clear, detailed descriptions on a wide range of subjects related to my field of interest. I can explain a viewpoint on a topical issue giving the advantages and disadvantages of various options.	I can present clear, detailed descriptions of complex subjects integrating sub-themes, developing particular points and rounding off with an appropriate conclusion.	I can present a clear, smoothly flowing description or argument in a style appropriate to the context and with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points.
W R I T I N G	Writing	I can write a short, simple postcard, for example sending holiday greetings. I can fill in forms with personal details, for example entering my name, nationality and address on a hotel registration form.	I can write short, simple notes and messages relating to matters in areas of immediate need. I can write a very simple personal letter, for example thanking someone for something.	I can write simple connected text on topics which are familiar or of personal interest. I can write personal letters describing experiences and impressions.	I can write clear, detailed text on a wide range of subjects related to my interests. I can write an essay or report, passing on information or giving reasons in support of or against a particular point of view. I can write letters highlighting the personal significance of events and experiences.	I can express myself in clear, well-structured text, expressing points of view at some length. I can write about complex subjects in a letter, an essay or a report, underlining what I consider to be the salient issues. I can select style appropriate to the reader in mind.	I can write clear, smoothly flowing text in an appropriate style. I can write complex letters, reports or articles which present a case with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points. I can write summaries and reviews of professional or literary works.

生徒・教員の英語力及び指導状況について

- 生徒の英語力について、目標としている英語力を達成している生徒は公立中学3年生で約35%、公立高校3年生で約32%。

○ 中学校卒業段階：初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の意向などを理解したり、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり書いたりすることができる。(英検であれば3級程度以上)

○ 高等学校卒業段階：英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる。(英検であれば準2級～2級程度以上)

* 第2期教育振興基本計画（平成25年～29年度）における成果指標

① 国際共通語としての英語力の向上

・ 学習指導要領に基づき達成される英語力の目標（中学校卒業段階：英検3級程度以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度以上）を達成した中高校生の割合50%

- 英語教員の英語力についても、目標を達成している教員は公立中・高それぞれ約29%及び約55%。

○ 生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成するため、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とすることができる。(英検準1級以上、TOEFLのPBT550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上またはTOEIC730点以上)

* 第2期教育振興基本計画（平成25年～29年度）における成果指標

② 英語教員に求められる英語力の目標（英検準1級，TOEFL iBT80点，TOEIC730点程度以上）を達成した英語教員の割合（中学校：50%，高等学校：75%）

- 生徒が英語を用いた言語活動を授業の半分以上行っている割合は、公立中学校3年生で約48%、公立高校（コミュニケーション英語Ⅰ）で約43%。

- 授業中、発話を半分以上英語で行っている英語教員は、公立中学校3年生担当で約47%、公立高校（コミュニケーション英語Ⅰ）担当で約48%。

- 「CAN-DOリスト」により学習到達目標を設定している学校は、公立中・高それぞれ約31%及び約58%。※「CAN-DOリスト」とは、英語を使って実際にどのようなことができるようになるのか、その能力を記述したものを指す。

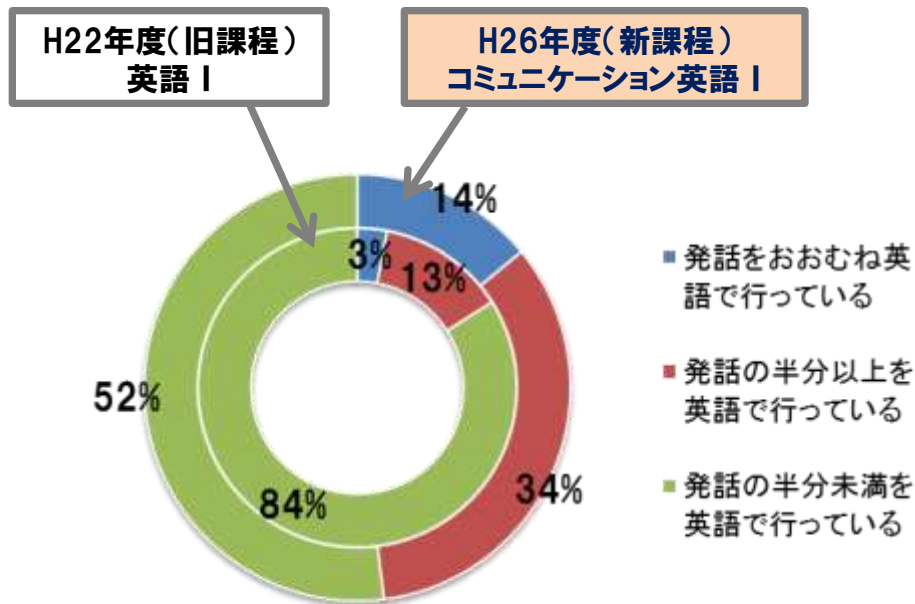
高等学校新学習指導要領(平成25年度～)の取組について

平成25年度より、高等学校に第1学年から年次進行で新学習指導要領を導入後、

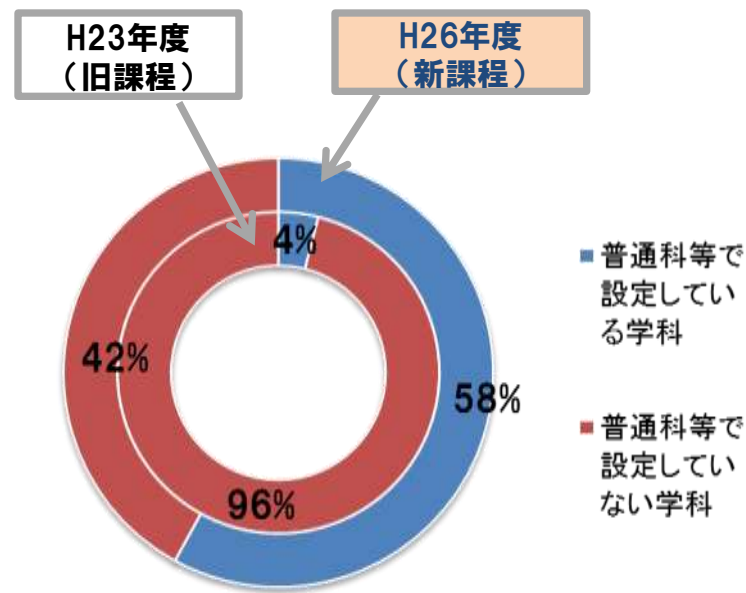
- 高校教員:必履修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」について、平成26年度普通科等の授業で「発話をおおむね英語で行っている」、「発話の半分以上を英語で行っている」と答えた教員の割合は合わせて48%(旧課程の平成22年度「英語Ⅰ」は16%)
- 高校生徒:「コミュニケーション英語Ⅰ」について、平成26年度普通科等の授業における生徒の英語による言語活動時間の割合は「おおむね言語活動を行っている」と「半分以上の時間言語活動を行っている」を合わせて43%
- 学習到達目標:普通科等において、「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標を設定している学科数の割合は平成26年度58%(旧課程の平成23年度は4%)

など、教員が授業を英語で展開し、生徒の英語による言語活動が授業の中心になってきているとともに、各高等学校において「CAN-DOリスト」の形で明確な学習到達目標を設定しつつある傾向が見られる。

普通科等の授業における英語担当教員の
英語使用状況(該当する英語担当教員の割合)



普通科等における「CAN-DOリスト」の形で
学習到達目標の設定等状況(該当する学科数の割合)



高等学校 早期から新学習指導要領の趣旨の即した授業に取り組んだ学校の成果事例

北海道函館中部高等学校

I 学校における教育活動

1. 日常的に「英語で表現する」機会を多く持たせる
→ さまざまな話題について考える, 話す内容を持つ, 英語で伝える機会の増加
2. 基礎科目「コミュニケーション英語基礎」の履修によって「自分のことを話そうとする態度」を養う
→ 3年間の英語指導を見据えて, 言語活動の素地を育成
3. CAN-DOリスト作成で, 教師が互いにノウハウを出し合う機会を作る
→ さらに新しい指導のアイデアを創出, 共有
4. 教科書「を」教えるのではなく, 教科書「で」教えることを重視する
→ 単元の扱い検討し, 生徒に合わせた臨機応変な指導を展開

II 授業指導の成果

GTEC for STUDENTS(リーディング, リスニング, ライティング試験)の結果
(1年間の伸び全国平均は30~35点)

同校2年の 年度比較	1年次	2年次	3年次
2013年度高2	405.8 +75.6点	481.4	
2012年度高2	407.2 +69.3点	476.5 +24.9点	501.4
2011年度高2	408.9 +38.8点	447.7 +49.5点	497.2

岩手県立福岡高等学校

I 学校における教育活動

1. アウトプット活動を日常的に授業の中で行う
→ 授業に対して受け身でない生徒を養成
2. “使える英語”と“受験英語”の区別をしないコミュニケーション能力の育成
→ 大学でも社会でも生きる英語力を育成
3. 英語による授業を実践する「DASH 70」(生徒・教員ともに授業における英語使用率70%以上を目指す)
→ 生徒のインプット・アウトプットが増量
4. FUKUOKA CAN-DO GRADE(学習到達目標)を開発する
→ 教師・生徒双方にとって, 授業の目的が明確化

II 授業指導の成果

GTEC for STUDENTS(リーディング, リスニング, ライティング試験)の結果
(1年間の伸び全国平均は30~35点)

同校3年の 年度比較	1年次	2年次	3年次
2014年度高3	368.6 +40.0点	408.6	
2013年度高3	372.3 +42.4点	414.7 +42.3点	457.0
2012年度高3		382.8 +62.5点	445.3

各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定

〈「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標を設定する目的〉

- 学習指導要領に基づき、外国語科の観点別学習状況の評価における「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について、生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、主に教員が生徒の指導と評価の改善に活用すること
- 学習指導要領を踏まえた、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能を総合的に育成し、外国語によるコミュニケーション能力、相手の文化的、社会的背景を踏まえた上で自らの考えを適切に伝える能力並びに思考力・判断力・表現力を養う指導につなげること
- 生涯学習の観点から、教員が生徒と目標を共有することにより、言語習得に必要な自律的学習者として主体的に学習する態度・姿勢を生徒が身に付けること

(出典：各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き：文科省初中局平成25年3月)

1 〈目的〉

- 学習指導要領に基づき、観点別学習状況の評価における「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について、生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、主に教員が生徒の指導と評価の改善に活用すること。

〈検討体制〉

- 学習到達目標の設定過程に外国語担当教員等全員が参加し、管理職の理解や協力、リーダーシップのもと、言語を用いて何ができるようになることを目指すかという観点から、生徒の実態を踏まえた上で、育成したい能力や生徒像、学習指導要領に基づいた指導と評価の方法を共有する体制を構築。



2 〈卒業時の学習到達目標設定〉

- 生徒の学習の状況や地域の実態等を踏まえた上で、卒業時の学習到達目標を、言語を用いて「～することができる」という形で設定。(その際、学習指導要領上の目標等に基づくことが必要。)



3 〈学年ごとの学習到達目標の設定及び年間指導計画と単元計画への反映〉

〈学年ごとの学習到達目標設定〉

○業時の学習到達目標を達成するための学年ごとの目標を、「CAN-DOリスト」の形で設定。（必要に応じて、学習指導要領や既存の取組を参照。）

〈年間の指導と評価の計画への反映〉

○「CAN-DOリスト」の形で設定した学年ごとの学習到達目標を年間指導計画等に位置づけ。各単元における目標、主な学習活動、評価方法等を計画。

〈単元ごとの指導と評価の計画への反映〉

○各学校で実際に行われる学習活動を基に、各単元の目標及び評価規準を設定。
○教科書を中心に、単元の目標を達成するのに適した教材を活用した各時の学習指導を計画。
○目標の達成状況を把握するための具体的な評価を計画し、単元計画に位置づける。

授業の実施

4 授業と評価

○言語を用いて何ができるようになるかという観点から計画した授業を実施。！単元の目標や評価規準を意識して授業を実施することが重要！

○観点別学習状況の評価における「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について、評価の計画に従い、学習活動の特質等に応じて、生徒の学習状況を的確に評価できる方法で実施。

評価方法例：多肢選択形式等の筆記テストのみならず、面接、エッセー、スピーチ等のパフォーマンス評価、観察等

○単元等の区切りの中で適切に設定した時期において評価。さらに学期や学年といった単位で学習の実現状況をまとめる。

（注）観点別学習状況の評価においては、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」及び「言語や文化についての知識・理解」の観点を併せて評価する。

5 達成状況の把握

各単元の目標や学年ごとの学習到達目標の達成状況を把握し、指導や評価の改善に活かす。必要に応じて教科書の採択に活かす。

6 学習到達目標の見直し

設定した卒業時及び学年ごとの学習到達目標が適切であったかどうかを検討し、必要に応じて見直す。

2 学習到達目標の設定へ

(参考) 岩手県版CAN-DOリストにおける特徴

CAN-DOリスト作成による変化

- **授業の目標が明確化**（技能習得型ゴール）
外国語科の実践が他教科にも好影響
- **定期考査が変化**
実技テスト（パフォーマンステスト）の増加
（62／64校 2013調査）
初見の英文を用いた出題が増加
- 生徒の英語による **言語活動主体の授業が増加**
ペア・ワークやグループ・ワークの増加
- 発表場面の増加
- 英語の授業は英語で
- 日常的にペア・ワーク
- ストップウォッチで活動時間を管理
- 文法訳読式授業の自然消滅
- 授業ディベートの導入

岩手県教育委員会の取組

- 県内公立高64校を（24校・24校・16校）に分け、3年計画で実施
- CAN-DOリスト作成のための 教員研修会開催
- 参考としての 「県版CAN-DOリスト」の作成
- 学校訪問で各校が作成したCAN-DOリストの 点検・修正
- 「CAN-DOリストに基づく言語活動実践例（DVD付）」の作成
- 公開授業の指導案にはCAN - DOリストを添付

CAN-DO List A（主に大学進学を希望する生徒用）				
2学年				
<育てたい生徒像>		外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。	達成度	
<具体的到達目標>		1年次までに習得した英語の知識を生かしながら相手の伝えたいことを理解し、適切な表現を使いながら自分の意見を伝えることができる。■外部試験による到達目標目安：（例）英検準2級合格 90% GTEC Grade4 90%		
技能	Listening	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。		
		自然なスピードで話される120～140語程度の英文を、数回聞けば、その使用状況や概要をおおむね理解できる。		
		教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、即座に行動に移すことができる。		
	Reading	説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方ができる。		
		パラグラフの概要を短時間で理解することができるとともに、パラグラフ相互の関係も理解することができる。 （目安：110WPM）		
		やや長めの物語やエッセイを辞書を頻繁に引かなくても、ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。		
		説明文や評論などの論理的な英文を、文章の構成や筆者の主張、図表との関連に注意しながら内容を適切に理解できる。		

高等学校 海外の教科書(例)

オックスフォード大学出版

基本の教科書(「コミュニケーション1」と「発表」、「討論」、「交渉」などの言語活動に対応した多様な教科書

討論・交渉

発表



基本となる教科書から「発表、討論、交渉」などの言語活動のための教科書・教材が豊富

単元ごとの達成目標・学習プロセスが可視化されており、効果的な学習が可能

教科書にC E F Rレベルの対応が明示されており、学習者のレベルにあわせた学習活動が可能

基本的な教科書

コミュニケーション1 例: Get Ahead シリーズ (全3レベル 1~3)

Unitにおける 授業内容概要

12

Disaster!

VOCABULARY Natural disasters ■ Man-made disasters
GRAMMAR will, may and might for possibility
CONVERSATION Talking about the future **WRITING** A charity poster

Vocabulary

Natural disasters

2:63 **1** Look at the pictures. Listen and repeat.



1 earthquake



2 flood



3 hurricane

レベル 2の
CEFRレベル
→A1-A2



Contents

各Unitにおける達成目標(カリキュラム)

Unit	Vocabulary	Conversation	Grammar	Skills
Around the world page 4	Countries, Cities, Large numbers Vocabulary Builder Large numbers			
1 This is fun! page 6	Fun activities Fun places Vocabulary Builder Sports with do, play, go	What do you do in your free time? I often play basketball. What about you? Hitting them and dodging What sports do you like playing? I'm only about volleyball. Pronunciation /oo/	Simple present: affirmative, negative and questions Verbs -ing form Grammar Builder Simple present: adverbs of frequency can / can't	Reading A fun place to go
2 Out and about page 12	Types of music Vacation plans Vocabulary Builder Meeting friends	What are you doing right now? What are you up to? That sounds fun. Asking arrangements What are you doing this weekend? I'm going to the movies. Do you want to come? Pronunciation Silent letters	Present continuous: affirmative, negative and questions Present continuous with future meaning	Reading A music festival
3 Mother Nature page 18	Geographical features Animals Vocabulary Builder Describing animals Pronunciation /s/	Guess What do you know about the world? Agreeing and disagreeing I think cats are the best pets. In my opinion, dogs are better.	Comparative and superlative adjectives	Reading A national park
4 TV and movies page 24	TV shows Movies Vocabulary Builder Extreme adjectives	What did you watch last night? Did you see that documentary on TV last night? It was really exciting. Expressing disbelief Guess what happened to me. You're kidding! Pronunciation /oo/	Simple past: affirmative, negative and questions Grammar Builder Simple past: negative and irregular verbs Pronouns	Writing A movie review Writing skills Postcards
Review Units 1-4 page 30				
5 Happy endings? page 32	Describing feelings Prepositions of movement Vocabulary Builder -ing adjectives	What happened to you? Why didn't you play in the basketball game? I hurt my hand. I was really upset about it. Expressing sympathy Did you have a good weekend? No, it wasn't great, actually. That's too bad! Pronunciation /v/	Modal / should / affirmative, negative and questions	Reading Muriel's letter King
6 Travel tales page 38	Transportation Verbs of movement Vocabulary Builder Making adverbs from adjectives	How do you get to school? I usually walk. Sometimes I take the subway. At the train station. Can I have a ticket to London, please? What time is the next train? Pronunciation /r/	Past continuous: affirmative, negative and interrogatives Grammar Builder Simple present for timetables	Reading A trip to school

Unit	Vocabulary	Conversation	Grammar	Skills
7 What's cooking? page 44	Food Verbs: preparing food Vocabulary Builder Quantities, preparing food	Give food matters In a grocery store Can I help you? I'm looking for some mangoes. Pronunciation Information	Countable and uncountable nouns some / any and how much / how many ...? Grammar Builder Interjectives	Reading Healthy eating
8 At home page 50	Housework do, have, make Vocabulary Builder do, have, make	Do you wash the dishes? Who does the housework in your house? My mom usually does it. Giving advice What's wrong? Maybe you should ... Pronunciation /i/	have to / can't for rules Grammar Builder should / shouldn't for advice so that	Writing A description of a bedroom Writing skills to that
Review Units 5-8 page 56				
9 Danger! page 58	Adventure sports Opposite adjectives Vocabulary Builder Symptoms and illnesses	Go! Living dangerously talking about experiences Have you ever tried ...? Wow! When did you do that? Pronunciation Weak forms	Present perfect with ever / never: affirmative, negative and questions Grammar Builder Present perfect: been / gone	Reading Extreme sports
10 High tech page 64	High-tech gadgets Present verbs Vocabulary Builder Present verbs with come and go	Is it new? I use my tablet all the time. I like watching movies on it. Is an electronics store How much is this one? It's a great deal. It's only 2,999. If you find the same TV at a lower price, we'll refund the difference. Pronunciation Abbreviations	will for predictions First conditional Grammar Builder Infinitive of purpose	Reading A charity brochure
11 Material world page 70	Materials Parts of a building Vocabulary Builder Describing objects	Go! Recycle it! Describing a lost object I can't find my pencil case. What does it look like? It's made of plastic. Pronunciation Linking sounds	Simple present passive: affirmative, negative and questions	Reading An unusual architect
12 Disaster! page 76	Natural disasters Man-made disasters Vocabulary Builder Compound nouns	Did you see the news? Wasn't it awful? Did you see the videos? Yes, it looked really scary. Talking about the future Are you worried about global warming? I think it will be a big problem. Pronunciation Stress patterns	will, may and might for possibility: affirmative and negative	Writing A charity poster Writing skills Poster presentation
Review Units 9-12 page 82				
Grammar Builder page 84 Vocabulary Builder page 86 Irregular verbs page 104				

12

Disaster!

VOCABULARY Natural disasters ■ Man-made disasters.
GRAMMAR will, may and might for possibility
CONVERSATION Talking about the future **WRITING** A charity poster

Vocabulary

Natural disasters

2:63 1 Listen to the pictures. Listen and repeat.



1 earthquake



2 flood



3 hurricane



4 tornado



5 volcanic eruption



6 forest fire



7 tsunami



8 landslide



9 drought

2 Circle the correct words.

- 1 There was a drought / flood and water covered the fields.
- 2 The earthquake / forest fire burned for many days.
- 3 The houses were covered in rocks from the volcanic eruption / flood.
- 4 The landslide / drought destroyed the road.
- 5 The wall of water from the tsunami / landslide came quickly up the beach.

2:64 3 Listen to Chan, Andy and Paola talking about natural disasters in their countries. Answer the questions for each person.

- 1 Where is he / she from?
- 2 What natural disasters occur in their countries?

4 **TRY IT OUT** Where do the natural disasters in exercise 1 frequently occur? Discuss with your partner and make a list of places.

There are a lot of earthquakes in the US.

Yes, and there are tornadoes there, too.

Conversation practice

Did you see the news?

2:65 1 Listen and read the conversation. What happened in New York?



Peter Hi, Saki. Did you see the news about the hurricane?
 Saki Yes, I did. It was in New York, right?
 Peter Yes, wasn't it awful? Did you see the videos?
 Saki Yes, it looked really scary.
 Peter There was no electricity. Tourists were sleeping in the airport.
 Saki I know. They may be there for days.
 Peter That's terrible.

Now practice the conversation with a partner.

2 Work in pairs. Change the blue words and make a new conversation about a different news story.

3 **TRY IT OUT** Now practice your new conversation with a partner.

2:66 3 **PRONUNCIATION** Listen and repeat. Notice the stress patterns in the words.

- 1 awful ●●
- 2 terrible ●●●
- 3 electricity ●●●●

2:67 Match the stress patterns with these words. Listen and check your answers. Then listen and repeat.

- | | |
|--------------|--------|
| 1 hurricane | a ●● |
| 2 tornado | b ●●● |
| 3 earthquake | c ●●●● |
| 4 tsunami | d ●●●● |
| 5 landslide | e ●●●● |
| 6 eruption | f ●●●● |

I can talk about the news.

発表 例: Stretch シリーズ
(全4レベル Starter, 1～3)

Unitにおける
授業内容概要



SCOPE AND SEQUENCE				
UNIT	VOCABULARY AND LISTENING	SPEAKING	GRAMMAR	READING AND WRITING
1 Life experiences Pages 2-7	play in a band, do business, go hiking, etc. SKILLS: Listening for tense	Food experience Pronunciation: Question intonation SKILLS: Asking follow-up questions	Present perfect and simple past	Reading: Try Something New! Writing: Recent learning experiences SKILLS: Using photos to predict content
2 Events Pages 8-13	graduate from college, visit a special place, win a prize, etc. SKILLS: Listening for details	Meeting an important person Pronunciation: Reductions with did you SKILLS: Showing interest	Simple past and past continuous	Reading: Lost and Found Writing: An interesting or important event SKILLS: Making a timeline
3 Opinions Pages 14-19	school uniforms, fast food, celebrity news, etc. SKILLS: Listening for opinions	Things will get better soon Pronunciation: Third vs. sink SKILLS: Offering encouragement	Too and enough with adjectives and nouns	Reading: School Uniforms Writing: Opinion on a topic SKILLS: Understanding tone
Self-Assessment Units 1-3 Pages 20-21				
4 Customs Pages 22-27	bowing, removing shoes, giving gifts, etc. SKILLS: Inferring setting from context	Cross-cultural advice SKILLS: Asking for more information	It + infinitive, gerunds as subjects Pronunciation: Reductions with to	Reading: Customs: Dos and Don'ts Writing: Cultural customs SKILLS: Brainstorming
5 Professions and skills Pages 28-33	graphic artist, mechanic, surgeon, etc. SKILLS: Listening for key words (1)	Job interview Pronunciation: Stressed syllables SKILLS: Using formal language	Present perfect with how long, since, and for	Reading: An interview with Susan Singer Writing: Your dream job SKILLS: Using graphic organizers
6 Recent activities Pages 34-39	train for a race, do volunteer work, apply for a job, etc. SKILLS: Listening for clues to make inferences	What people have been doing lately Pronunciation: Reductions with been SKILLS: Expressing surprise	Present perfect continuous	Reading: Training for a 5K Race Writing: The best way to do an activity SKILLS: Writing a topic sentence with details
Self-Assessment Units 4-6 Pages 40-41				

VIEWING Worldwide Learning	PRESENTING	CULTURE TALK	LEARNING OUTCOMES I can...
Climbing high	A past hobby	Spicy food University degrees	...listen for tense in life experiences. ...use the present perfect and the simple past ...notice adjectives.
SKILLS: Noticing adjectives	SKILLS: Moving around		
A young mayor	How you met a friend	Cell phones Minimum driving age	...use expressions to show interest. ...make a timeline to organize ideas. ...make eye contact.
SKILLS: Noticing time markers	SKILLS: Making eye contact		
The uniform debate	A new rule	Unusual museums School uniforms	...listen for opinions. ...use expressions to offer encouragement. ...evaluate opinions.
SKILLS: Evaluating opinions	SKILLS: Changing speech		
Food customs	Customs at home	Tippling in restaurants Table manners	...use expressions to ask for more information. ...brainstorm before writing. ...tell a story.
SKILLS: Paying attention to details	SKILLS: Telling stories		
Bollywood costume designer	A job you would be good at	Bollywood films Professional holidays	...use formal language. ...use graphic organizers to understand a reading. ...persuade my audience.
SKILLS: Identifying cause and effect (1)	SKILLS: Persuading your audience		
A record breaker	Positive and negative things about a recent activity	Theme parks Marathons	...listen for clues to make inferences. ...use the present perfect continuous. ...understand casual speech.
SKILLS: Understanding casual speech	SKILLS: Giving a balanced view		

各Unitにおける達成目標(カリキュラム)

レベル 3の
CEFRレベル→B1

テキストのサンプルページ (Unit中一部抜粋)

5 VIEWING: The uniform debate

A Look at the photo. Do you like these school uniforms? Why or why not?



B Watch the video. Write **T** (true) or **F** (false).

- Students wore uniforms in the 1950s.
- At the Harris Academy, students started wearing uniforms.
- Students' scores at the Harris Academy have gone down because of uniforms.
- Students at the Harris Academy like their uniforms.
- Students should be proud of their street image.
- Parents have to pay for new uniforms.

C Watch again and circle the correct words. Then write **A** (agree) or **D** (disagree) next to each statement.

- School uniforms create a sense of *belonging / responsibility*.
- When you're proud of what you're wearing, you'll *work harder / stand up straighter*.
- When students can choose their own clothes, they're *happier / better behaved*.
- Everybody just accepts everybody for *who they are / what they look like* and what they wear.
- Uniforms mean that *money / fashion* style isn't reflected in the clothes that you're wearing.

D Discuss your opinions from Part C with a small group. Give reasons for your opinions.

VIEWING
Evaluating opinions
As you watch, evaluate people's opinions. Do you agree or disagree with them? This connects you to the topic.

CULTURE TALK!
School uniforms in Brazil will have small org computers that tell parents when their children arrive at school. Do you think this is a good idea?

I can... evaluate opinions. ☐ Very well ☐ Well ☐ Not very well

6 PRESENTING

A Read and listen to the presentation. Put a slash (/) where the speaker changes speeds.



B Read the presentation to a partner. Remember to change speeds.

C Think of a new rule. It can be silly or serious. Answer the questions.

- What is the rule?
- Who has to follow it?
- Why is this rule a good idea?

D Stand up. Use your notes from Part C to tell a group about your new rule. Remember to change speeds.

PRESENTING
Changing speeds
Changing speeds make your presentation more interesting. Slow down at important parts, the key points and jokes, so your audience can think or laugh.

YIP
It's better to slow down in the middle of a sentence than across sentences.

I can... change speeds in a presentation. ☐ Very well ☐ Well ☐ Not very well

3 Opinions

Vocabulary and Listening
Listening for opinions
Speaking
Offering encouragement
Grammar
Too and enough
Modals and linking
Understanding tone
Vocabulary
Expressing opinions
Presenting
Changing speeds

1 VOCABULARY AND LISTENING

A Listen and repeat.



1. household pets 2. school uniforms 3. fast food 4. vegetarianism 5. urban games 6. celebrity status 7. working 8. climate change

B Match the words with their meanings.

1. fast food	a. streets where busier people
2. climate change	b. seriously sick or sad and angry
3. celebrity status	c. not eating meat
4. vegetarianism	d. teenagers and French film, for example
5. household pets	e. the idea that the Earth is getting warmer

C Listen to people giving opinions. Listen and write the topics from 1–4.

1. fast food 2. school uniforms 3. household pets 4. urban games

D Listen again. Do the people agree or disagree about the topic? Circle the correct answer.

1. Agree	Disagree
2. Agree	Disagree
3. Agree	Disagree

I can... evaluate opinions. ☐ Very well ☐ Well ☐ Not very well

2 SPEAKING

A Put the conversation in the correct order. Number the sentences 1–6.

1. I like it, but I'm too busy.
2. I wish I had time to meet people.
3. The more things will get better soon.
4. I hope so.
5. How's your new job?
6. Oh, that's too bad.

B Listen to the conversation. Then practice with a partner.



SPEAKING
Offering encouragement
Use expressions like 'I wish I had time to meet people' and 'The more things will get better soon' to help people feel better.

CULTURE TALK!
In Amsterdam, the Netherlands, there is a car museum. Do you know of any other unusual museums?

C Work in pairs. Practice the conversation below with your own information. Offer encouragement.

A: How's everything?
B: Good, but...
A: I've seen things will get better soon.
B: Thanks. How are things with you?
A: I'm fine. How are things with you?
B: I'm fine. How are things with you?

D Presentation. Think up, write, listen and repeat. Write like this and use the presentation differently.

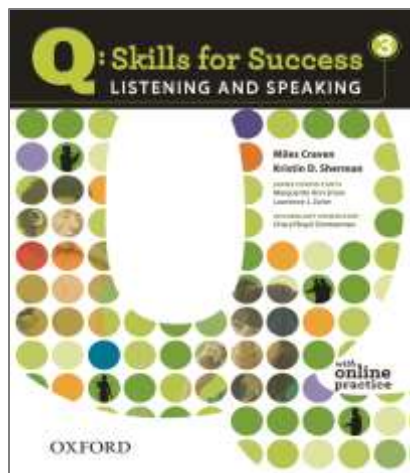
1. things / things 2. think / need 3. hard / easy 4. north / south

I can... use expressions to offer encouragement. ☐ Very well ☐ Well ☐ Not very well

©Oxford University Press 2015

討論・交渉

例: Q:Skills for Success Listening and Reading シリーズ (全6レベル Intro, 1~5)



Unitにおける
授業内容
概要



SCOPE AND SEQUENCE Listening and Speaking 3				
UNIT	LISTENING	SPEAKING	VOCABULARY	UNIT OUTCOME
1 First Impressions Q Are first impressions accurate? LISTENING 1: The Psychology of First Impressions A lecture (Psychology) LISTENING 2: Book Review of <i>Work by Malcolm Gladwell</i> A radio program (Interpersonal Communication)	- Use prior knowledge and personal experience to predict content - Listen for main ideas - Listen for details - Make inferences to fully understand what a speaker means - Listen for opinions to understand a book review - Listen for reduced verb forms to understand everyday speech	- Make notes to prepare for a presentation or group discussion - Take turns to make a conversation go smoothly - Imply opinions to avoid stating them too directly - Use verb contractions to increase naturalness of speech	- Assess your prior knowledge of vocabulary - Use suffixes to change a word's part of speech	LEARNING OUTCOME Describe an inaccurate first impression in detail.
2 Food and Taste Q What's more important: Taste or nutrition? LISTENING 1: You Are What You Eat A radio program (Nutrition) LISTENING 2: Food Tasters A podcast (Food Service)	- Use prior knowledge and personal experience to predict content - Listen for main ideas - Listen for details - Listen for causes and effects to understand relationships among ideas - Follow a summary of several ideas to match an opinion with a speaker - Identify /y/ and /ai/ sounds in speech to understand links between words	- Make notes to prepare for an interview - Give advice to suggest healthy eating habits - Prepare to speak about your personal tastes to help others conduct a survey - Conduct a survey of classmates' tastes - Participate in a group discussion about results of a survey	- Assess your prior knowledge of vocabulary - Understand and use collocations of adjectives with nouns to expand vocabulary	GRAMMAR • Auxiliary verbs do, be, have PRONUNCIATION • Use contractions with auxiliary verbs CRITICAL THINKING • Assess your prior knowledge of content • Relate personal experiences to listening topics • Integrate information from multiple sources • Evaluate the truthfulness of traditional wisdom • Identify your decision-making processes • Examine your reasons for forming impressions of people UNIT OUTCOME • Describe in detail an inaccurate first impression.
3 Success Q What can we learn from success and failure? LISTENING 1: Chasing Your Dreams A lecture (Business Management) LISTENING 2: The Benefits of Failure A speech (Psychology)	- Use prior knowledge and personal experience to predict content - Listen for main ideas - Listen for details - Listen for opinion statements to understand a speaker's positive and negative attitudes - Match people with ideas to understand their attitudes - Listen for exact words or phrases to improve your word recognition	- Make notes to prepare for a presentation or group discussion - Ask for clarification so you understand difficult concepts - Include time for questions after a presentation so your audience can ask for clarification - Clarify what you say so others understand you better	- Assess your prior knowledge of vocabulary - Understand and use prefixes for negatives (dis-, in-, and im-) and other meanings (con-, re-, multi-, and anti-) - Understand prefixes to increase comprehensiveness - Use prefixes to expand vocabulary	GRAMMAR • Quantifiers with count/non-count nouns PRONUNCIATION • Use linked sounds with /j/ and /w/ CRITICAL THINKING • Assess your prior knowledge of content • Relate personal experiences to listening topics • Integrate information from multiple sources • Evaluate the healthfulness of your habits • Relate personal food preferences to those of your classmates • Evaluate classmates' reasons for food preferences UNIT OUTCOME • Interview classmates to inform a group discussion on why people prefer certain foods.
	- Use prior knowledge and personal experience to predict content - Listen for main ideas - Listen for details - Listen for opinion statements to understand a speaker's positive and negative attitudes - Match people with ideas to understand their attitudes - Listen for exact words or phrases to improve your word recognition	- Make notes to prepare for a presentation or group discussion - Ask for clarification so you understand difficult concepts - Include time for questions after a presentation so your audience can ask for clarification - Clarify what you say so others understand you better	- Assess your prior knowledge of vocabulary - Understand and use prefixes for negatives (dis-, in-, and im-) and other meanings (con-, re-, multi-, and anti-) - Understand prefixes to increase comprehensiveness - Use prefixes to expand vocabulary	GRAMMAR • Gerunds and infinitives as the objects of verbs PRONUNCIATION • Correctly place stress on important words in sentences. CRITICAL THINKING • Assess your prior knowledge of content • Relate personal experiences to listening topics • Integrate information from multiple sources • Understand, interpret, and evaluate others' attitudes toward success and failure • Identify your attitudes toward success and failure • Consider your hopes and ambitions • Evaluate the consequences of decisions UNIT OUTCOME • Discuss successful and unsuccessful personal experiences and explain what you learned from them.

レベル 3の
CEFRレベル→B1



各Unitにおける達成目標(カリキュラム)

テキストのサンプルページ (Unit中一部抜粋)

- Do you usually have a(n) _____ feeling about people when you meet them for the first time? I do because I think most people are good.
- My first _____ with my new neighbors was very unpleasant. We argued about the amount of noise they were making.



PREVIEW LISTENING 1

The Psychology of First Impressions

You are going to listen to a lecture about first impressions. A psychologist explains how first impressions affect our opinion of a new person.

Check (✓) the statement about first impressions you think is true.

- ☐ First impressions give us a good idea of what a person is really like.
- ☐ We often make errors because of first impressions.

LISTEN FOR MAIN IDEAS

Read the statements. Then listen to the lecture. Write T (true) or F (false).

- First impressions aren't important because we don't remember them.
- If a person is happy when we meet her, we will often think she is happy all the time.
- Our first impressions give us an accurate picture of the whole person.
- We judge other people's behavior differently from our own.

LISTEN FOR DETAILS

Read the sentences. Then listen again. Circle the answer that best completes each statement.

- People _____ about what they see in a first encounter.
 - often make mistakes
 - never make mistakes
 - don't care

Tip for Success
Presentations and talks often begin with a short story or anecdote. The story is usually an example of the topic the speaker is going to talk about.

- People assume that their first impressions tell them about _____ person.
 - a sample of a
 - most of a
 - the whole
- If we think a person is happy when we first meet her, we will think she is also _____.
 - friendly
 - angry
 - boring
- If someone else does something negative, we think it is because of _____.
 - his personality
 - the situation he was in
 - how he felt that day
- If we do something negative, we think it is because of _____.
 - our personality
 - the situation
 - someone else

WHAT DO YOU THINK?

Discuss the questions in a group.

- In this lecture, the speaker says we often think that the way a person behaves when we first meet him is the way he behaves all the time. From your personal experience, do you agree or disagree? Give examples.
- Have you ever formed a first impression of someone that was wrong? Explain.



First impressions aren't always correct.

Listening and Speaking 7

©Oxford University Press 2015

Pronunciation Contractions with auxiliary verbs

CD 1
Track 10

Auxiliary verbs are usually unstressed and can be shortened as part of a **contraction**. Most contractions can be used in speech and informal writing, but some are only used in speech.

Listen to these examples of contractions.

Contractions used in speech or writing

She's eating now. (She is eating now.)
They're watching TV. (They are watching TV.)
Lisa's already left. (Lisa has already left.)
We've finished our work. (We have finished our work.)

Contractions used only in speech

What's it cost? (What does it cost?)
Where'd you go? (Where did you go?)
Why'd he arrive so late? (Why did he arrive so late?)

CD 1
Track 11

A. Listen to these sentences with contractions. Write the full form of the auxiliary verb.

- Who _____ your favorite movie star?
- Where _____ you go on your last vacation?
- Mary _____ going to the store.
- Jack _____ gone already.
- We _____ usually eaten by 6:00.
- What _____ you do after class yesterday?
- The girls _____ been here before.

B. Work with a partner. Take turns saying the sentences from Activity A. Use the full form of the auxiliary verbs. Then practice saying them with contractions.

Speaking Skill Taking conversational turns

CD 1
Track 11

When you are speaking with someone, it is polite to take turns talking. Taking turns keeps the conversation going and shows that you are interested in what the other person is saying.

If the other person asks you a question, answer it, and add some new information. If possible, ask a question of your own. Here are some questions you can use.

What do you think? How about you?
Do you agree? You know?
Right? Okay?

A. Complete the conversation with questions from the Speaking Skill box. Then practice the conversation with a partner.

Tony: Hi. I'm Tony. It's nice to meet you.

Alex: My name's Alex. Nice to meet you too. Are you a new student?

Tony: No. I've been studying here for two years.

Alex: I just started this week, but so far, this class looks interesting.

Tony: I agree. The teacher's very effective. The book he's using looks good, too.

Alex: Yeah. He seems friendly and interesting.

B. Read the questions and write notes in your notebook to help you answer. Then have a conversation about each question with a partner. Keep the conversations going for at least three turns each, and signal your partner's turn by using questions from the Speaking Skill box.

- Who was your most effective teacher when you were a child? What impressed you about him or her?
- Have you ever made a bad first impression on someone else? What did you do?

Listening and Speaking 17

©Oxford University Press 2015

高等学校 英語科目の今後の在り方について（検討素案）

現行科目

コミュニケーション
英語基礎

コミュニケーション
英語Ⅰ

（必修）

コミュニケーション
英語Ⅱ

コミュニケーション
英語Ⅲ

英語
表現Ⅰ

英語
表現Ⅱ

英語
会話

課題

- ・生徒の英語力について、4技能全般、特に「話すこと」と「書くこと」の能力が課題
- ・英語の学習意欲に課題
- ・言語活動、特に、統合型の言語活動（例：聞いたり読んだりしたことに基づいて話したり書いたりする活動）が十分ではない
- ・グローバル時代において、英語学習に関する生徒の多様化への対応が必要

発信力が弱い

資質・能力

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、他者を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う

科目の在り方

英語による「思考力・判断力・表現力」を高める見直し

4技能総合型（必修科目を含む）の科目

- ・「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能総合型
- ・複数の技能を統合した言語活動が中心

外国語教育において世界標準となっているCEFRを参考に、指標形式での目標設定を検討

発信能力の育成をさらに強化する科目

- ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの統合型言語活動が中心

高度化・多様化

生徒が実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協働的に探究し、英語で情報や考えなどを互いに伝え合うことを目的とした学習

改訂の方向性（案）

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表。

英語教育の抜本的強化のイメージ（秋以降、専門的に検討予定）

※具体的な小学校の授業時数については、**年内～年明けを目途に教育課程全体の構成とともに検討を進め、一定の方向性を提示**

新たな英語教育

成熟社会にふさわしい我が国の価値を海外展開したり、厳しい交渉を勝ち抜く人材の育成

大学や海外、社会で英語力を伸ばす基盤を確実に育成

高校卒業レベル
で3000語

高で
1800語

中で
1200語

現状

【高等学校】

- 目標：コミュニケーション能力を養う
- 授業は英語で行うことが基本

国の目標（英検準2～2級程度等50%）
→現状32%
・生徒の学習意欲、「書く」「話す」に課題
・言語活動が十分でない

【中学校】

- 教科型を通じた4技能の総合的育成
- 目標：コミュニケーション能力の基礎を養う
- 前回改訂で週3⇒週4に増

国の目標（英検3級程度等50%）→現状35%
・言語活動が十分でない

年間140単位時間（週4コマ程度）

- 活動型 【小学校高学年】 年間35単位時間
- 目標：「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
- 学級担任を中心に指導

外国語活動が成果を上げ、児童の「読む」「書く」も含めた系統的な学習への知的欲求が高まっている状況

年間35単位時間（週1コマ程度）

【高等学校】

- 目標例：例えば、ある程度の長さの新聞記事を速読して必要な情報を取り出したり、社会的な問題や時事問題など幅広い話題について課題研究したことを発表・議論したりすることができるようにする
- 授業を英語で行うことを基本とするとともに、①4技能を総合的に扱う言語活動、②特に、課題がある「話すこと」、「書くこと」において発信力を強化する言語活動を充実（発表、討論・議論、交渉等）

【中学校】

- 目標例：例えば、短い新聞記事を読んだり、テレビのニュースを見たりして、その概要を伝えることができるようにする
- 身近な話題について理解や表現、情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業を英語で行うことを基本とする

年間140単位時間

教科型

【小学校高学年】

【小学校】

- 目標例：例えば、馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、家族、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできるようにする
- 「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」の育成も含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。
- 学級担任が専門性を高め指導、併せて専科指導を行う教員を活用、ALT等を一層積極的に活用

教科として系統的に学ぶため、効果的な「繰り返し学習」としてモジュール学習も活用

年間70単位時間 ※

活動型

【小学校中学年】

- 目標：「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
- 主に学級担任がALT等を一層積極的に活用したT・Tを中心とした指導

年間35単位時間 ※

改善のための
PDCA
サイクル

高等学校基礎学力
テスト（仮称）

改善のための
PDCA
サイクル

4技能学力調査
全国的な英語

高等学校の英語教育の強化のための養成・研修の改善・充実策

次期指導要領改訂（32年度）に向けて、今後5年間（26～30年度）に必要な指導者を確保するための教員養成・研修の在り方について、以下の施策を推進。

1. 英語教育強化地域拠点事業 （27年度予算：約9千万円）

- 小学校英語の早期化・教科化、中・高等学校の目標の高度化等、小・中・高を通じた先進的な取組を支援。（英語教育強化地域拠点：18地域→25地域）
- 研究成果を今後の教育課程の検討に反映。

2. 教員の英語指導力向上 （27年度予算：約3千万円）

（1）教員の指導力向上

○「英語教育推進リーダー」養成を通じた研修

- ・国が毎年100名ずつ「英語教育推進リーダー」を養成し、国のリーダーが地域で20名程度以上の教員に対して研修を行うことにより、最終的には5年間で全英語担当教員（約3万人）に教員の指導力の改革を行う。
- ・研修プログラムや教材（テキスト・DVD）は、ブリティッシュ・カウンシルに委託し、国と協働開発。

- 都道府県・政令指定都市教育委員会と外部専門機関（国内外の公的機関、大学等）が連携して実施する英語指導力向上事業を支援

※域内の「英語教育改善プラン」の策定、明確な目標設定及び目標管理

（2）教員養成・研修のためのコア・カリキュラム開発等

- 教職課程のためのコア・カリキュラムの開発・普及（27年度～）

地域における具体的な目標設定・取組事例（イメージ）

国の支援（26年度以降、開始）

県教育委員会の目標設定・管理（高校の例）

	H25年	H26年		H27年		H28年		H29年	
	現 状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
生徒の英語力	32%	40%	39%	45%		47%		50%	
教員の英語力	55%	60%	66%	75%		78%		80%	
学習到達目標の設定 (CAN-DOリスト)	41%	100%	100%	100%		100%		100%	
教員の授業における英語使用状況	55%	58%	60%	70%		75%		80%	

第2期教育振興基本計画（25～29年度）

※高校卒業時の英語力の目標（英検準2級程度～2級程度以上を達成した割合50%）

※英語教員の英語力の目標（英検準1級、TOEFL IBT80点、TOEIC730点以上）を達成した教員割合（高校：75%）

支援

県における「英語教育改善プラン」の研修イメージ

『グローバル化対応教員育成事業』

国の②の事業を活用して以下の事業を実施。

◆ 英語教師の英語力向上講座

- ・指導力向上講座
- ・英検、TOEFL、TOEICなど民間の資格・検定試験を活用した英語力向上講座

◆ 英語授業指導向上講座

- ・ワークショップ、公開授業を通じた改善のための研究、実践交流

◆ スピーチ・ディベート指導者養成講座

- ・スピーチに関する指導法、評価方法
- ・ディベートを通して身につく力（論理的思考力、英語力など）、ディベート大会実施による活動（実施と評価）

◆ 外国語指導助手（ALT）の指導力向上研修

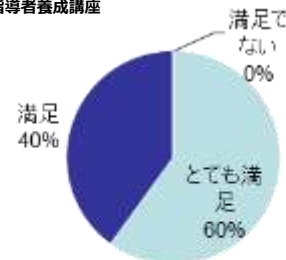
効果

検証・改善

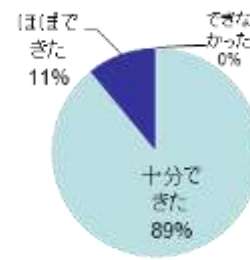
【研修後の声】

- 全て英語での研修を通して意欲が高まった。
- 模擬授業や研修で得たアイデアや教材を持ち帰り校内で研修し学校として取組みたい。
- グループワークの方法を学び、是非アイデアを取り入れて授業を行ってみたい。
- ディベートで発揮する発信力をつける指導を授業で実践してみたい。
- 外部検定試験を定期的に受験し、自分自身の英語力向上に努めていきたい。

スピーチ・ディベート指導者養成講座

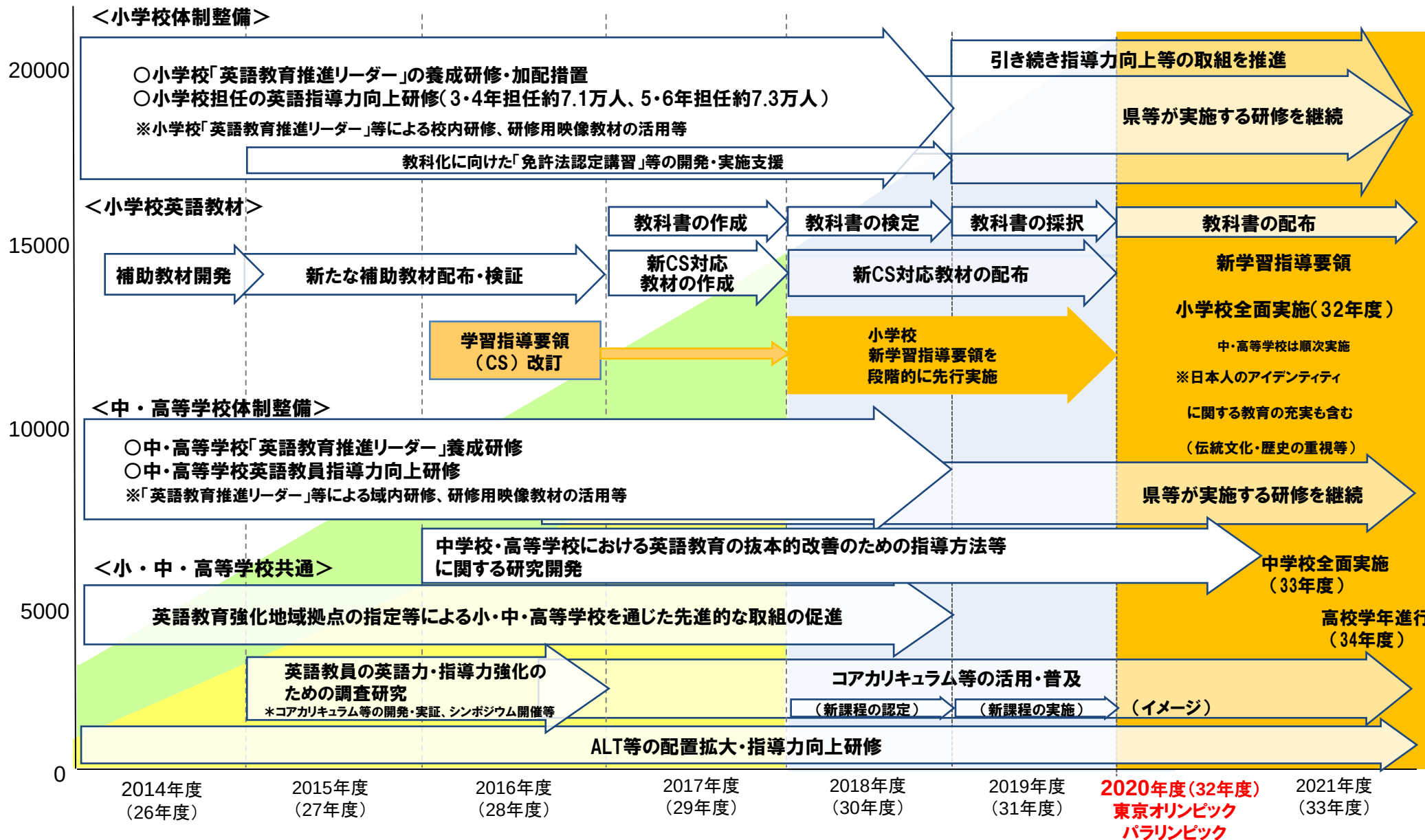


英語教師の英語力向上講座



グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール(イメージ)

(小学校数)



国が定める標準授業時数に上乗せして実施する小学校

研究開発学校・教育課程特例校
(現行の教育課程の基準によらない)

新学習指導要領(小学校英語)の先行実施